

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野	合 計	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	ド イ ツ	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化						
29~ 47年度	(1)1				(1)							1												
合 計	(1)1				(1)							1												

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

[プロジェクト方式技術協力]

保健医療協力事業

ド イ ツ	プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
				調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
								継続	新規				
	経済協力庁		元							1,825		1,825	

[開発調査方式技術協力]

開発調査事業

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	都市交通計画における 軌道系交通システム導 入研究		62				4,430
2	援助機関におけるコン サルタント契約実態調 査		62				851

[援助効率促進事業]

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	技術協力実施体制調査		63	横断的評価調 査	63. 7. 9~63. 7. 20	(6)	5,307

ギリシャ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態 及び 人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員	57,669	(4) 7	11,807	3	11,939	3	13,226	5	15,452	5	6,660		2,911	1	119,664	(4) 24
専 門 家	7,559	8													7,559	8
調 査 団					13,803	13	131,958	21	23,005	7					168,856	41
協 力 隊																
機 材 供 与	3,969														3,969	
そ の 他	1,330				2,710										4,040	
合 計	70,527	(4) 15	11,807	3	28,542	16	145,184	26	38,457	12	6,660		2,911	1	304,088	(4) 73

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業		工 業	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源				
研 修 員	(4) 24		6		(2) 12		1						(2)		5						119,664
専 門 家	8			4	4																7,559
調 査 団	41														41						168,856
協 力 隊																					
機 材 供 与																					3,969
そ の 他																					4,040
合 計	(4) 73		6	4	(2) 16		1						(2)		46						304,088

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

ギリシヤ	分野	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
			年度																					
	37年度	(1)													(1)									
	38 "																							
	39 "																							
	40 "																							
	41 "																							
	42 "																							
	43 "	(1)				(1)																		
	44 "	(1)				(1)																		
	45 "																							
	46 "																							
	47 "																							
	48 "																							
	49 "	(1)													(1)									
	50 "																							
	51 "																							
	52 "																							
	53 "																							
	54 "																							
	55 "																							
	56 "																							
	57 "																							
	58 "																							

1,643

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
59年度	3		1		2																	41,643
60 "	3		2		1																	14,383
61 "	3		2		1																	11,807
62 "	3		1		2																	11,939
63 "	5				2											3						13,226
元 "	5				3											2						15,452
2 "																						6,660
3 "	1				1																	2,911
合計	(4)24		6		(2)12		1							(2)		5						119,664

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
57年度	1				1																	1,172
58 "																						1,423
59 "	7			4	3																	8,933
合計	8			4	4																	11,528

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	観光振興計画	観光立国としてのギリシャの開発状況を踏まえ、日本人観光客の増加にも資する観光振興計画を策定するため、昭和62年は事前調査を実施し、S/Wを終結した。 昭和63年度は昭和62年度に実施した事前調査結果に基づき本格調査を開始し、中間報告を提出した。 平成元年度は昭和63年度に引き続き本格調査を実施し、最終報告書を提出した。	62	事前調査	62. 11. 10～63. 4. 10	13	13,893
			63	実施調査	63. 9. 17～元. 2. 21	21	131,958
			元	〃	元. 5. 15～元. 5. 22	5	23,005

ギリシャ

ハンガリー

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 及び人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研 修 員		10,466	(10)							48,322	50	131,415	94	316,199	107	506,402	(10) 251
専 門 家										3,440	1	1,184		1,119	1	5,743	2
調 査 団										14,114		39,185	15	160,105	30	213,404	45
協 力 隊														527	2	527	2
機 材 供 与										486		85,806		3,565		89,857	
そ の 他																	
合 計		10,466	(10)							66,362	51	257,590	109	481,515	140	815,933	(10) 300

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ 1	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	(10) 251		(1) 59		(1) 10		(1)	(1) 34					(2)	(4) 3	140				5			506,402
専 門 家	2	1	1																			5,743
調 査 団	45	6	10	5										23							1	213,404
協 力 隊	2																2					527
機 材 供 与																						89,857
そ の 他																						
合 計	(10) 300	7	(1) 70	5	(1) 10		(1)	(1) 34					(2)	(4) 26	140		2		5		1	815,933

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
29~47年度	(3)				(1)									(2)								1,511
48 "	(1)							(1)														1,034
49 "																						
50 "	(2)												(1)	(1)								2,193
51 "	(1)												(1)									
52 "																						
53 "	(3)		(1)				(1)							(1)								5,728
54 "																						
55 "																						
56 "																						
57 "																						
58 "																						
59 "																						
60 "																						
61 "																						
62 "																						
63 "																						
元 "	50														50							49,722
2 "	94		25					24							45							134,537
3 "	107		34		10			10						3	45				5			316,199
合計	(10)251		(1)59		(1)10		(1)	(1)34					(2)	(4)3	140				5			510,924

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
3年度	1		1																			1,119
合計	1		1																			1,119

ハンガリー

青年海外協力隊派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
元年度																						3,119
2 "																						1,241
3 "	2																2					2,417
合計	2																2					6,777

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

ハンガリー

No	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機 材 供 与 経 費 (千円)
1	医療用機材	文部省ペトー院	2	8,565
計	1 件			8,565

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
医療協力計画		2					継続	新規	1,184		1,184

保健医療協力事業（特別機材供与）

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
医療特別機材 バーサリークロス		3					継続	新規		磁気分光光度計 3,027	3,027

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	ミシュコルツ市大気汚染対策計画	ハンガリー第2の都市ミシュコルツ市を中心とするシャヨ・バレー地域を対象として、地域の社会経済活動と環境大気の関係进行调查・解析し、総合的な大気汚染対策計画マスタープランの策定を行うものであり、平成3年度は事前調査を実施し、実施細則(S/W)を締結した。	3	事前調査	4. 3. 29～4. 4. 18	7	7,736
2	ブダペスト市都市廃棄物処理計画	首都ブダペスト市を対象として、2005年を目標とする都市廃棄物処理計画マスタープランを策定し、優先プロジェクトのフィージビリティ調査を行うものであり、	3	事前調査	3. 5. 27～3. 6. 3	1	} 63,058
			3	実施調査	4. 4. 9～4. 7. 28	7	

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		平成3年度は事前調査を実施し、実施細則(S/W)を締結するとともに、本格調査に着手した。					

ハンガリー

海外開発計画調査事業

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	鉱工業プロジェクト選定確認	(ハンガリー、ポーランド)	元	海	2. 3. 17~2. 3. 30	(11)	6,367
2	省エネルギー計画	ハンガリー国内の5産業(セメント、製鉄、染色、アルミナ、タイヤ・ゴム)の代表的工場を診断することにより、同国における省エネルギーについての現状を把握し、産業別に最適な省エネルギー計画についての提案を行う。 平成2年度は、予備調査により工場、業種の選定を行い、事前調査団により実施細則(S/W)の締結を行った。 平成3年度は、本格調査を実施した。	2	海	2. 6. 4~2. 6. 15	4	89,089
			2	海	2. 7. 30~2. 8. 9	5	
			3	海	3. 7. 22~3. 9. 20	14	
3	鉱工業プロジェクト選定確認		2	海			72

〔援助効率促進事業〕

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	プロジェクト形成調査	(ハンガリー、ポーランド) 一般	元	プロジェクト形成調査	元. 12. 16~元. 12. 25	(1)	405
2	プロジェクト確認調査	(ハンガリー、ポーランド) 一般	元	プロジェクト確認調査	2. 1. 27~2. 3. 26	(6)	2,823
3	案件形成発掘		元	企画調査員	2. 1. 27~2. 4. 26	1	3,926
4	プロジェクト形成調査	環境	2	プロジェクト形成調査	3. 1. 20~3. 3. 4	7	23,550
5	プロジェクト形成調査	大気汚染	3	プロジェクト形成調査	4. 1. 20~4. 2. 7	4	10,502

イタリヤ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

イ タ リ ヤ 形 態	年度		61		62		63		元		2		3		累 計	
	経 費 及び 人数	27~60	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員		(1)														(1)
専 門 家		(4)			664				10,886		2,671	1			14,221	(4) 1
調 査 団	3,344		1,018										386	1	4,748	1
協 力 隊																
機 材 供 与									63,000						63,000	
そ の 他																
合 計	3,344	(5)	1,018		664				73,886		2,671	1	386	1	81,989	(5) 2

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

形 態	分 野	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員		(1)													(1)									
専 門 家		(4) 1																	(4)			1		14,221
調 査 団		1																				1		4,748
協 力 隊																								
機 材 供 与																								63,000
そ の 他																								
合 計		(5) 2													(1)				(4)			2		81,989

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
		開発 計画	行政	公益 事業	運輸 交通	社会 基盤	通信・ 放送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業・ 貿易	観 光	人 的 資 源	科 学・ 文化					
29~ 47年度	(1)													(1)									
48 "																							
49 "																							
50 "																							
51 "																							
52 "																							
53 "																							
54 "																							
55 "																							
56 "																							
57 "																							
58 "																							2,082
59 "																							
60 "																							
61 "																							1,018
合計	(1)													(1)									3,100

イタリヤ

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

イ タ リ ア	分野	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (万円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
	53年度	(2)																(2)						
	54 "	(2)																	(2)					
	合 計	(4)																	(4)					

(注) カッコは国際機関専門家で外数である。

〔無償資金協力〕

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	IFADアフリカ農業関連 案件情報聴取				3	実施促進	3. 5. 30～3. 6. 3	1	386

イ
タ
リ
ア

〔災害援助等協力事業〕

専門家派遣

年度	災 害 名	期 間	人 数	経 費 実 績 (千円)
62	備蓄基地調査	63. 1. 16～63. 1. 27	(3)	664
元	備蓄			71,440
元	国際緊急援助体制調査・説明	元 9. 20～元 9. 28	(5)	2,446
2	熱帯国際会議	2. 9. 23～2. 9. 30	1	915
〃	備蓄基地	2. 10. 24～2. 10. 28	1	1,756

マ ル タ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

マ ル タ 形 態	年度		61		62		63		元		2		3		累 計	
	27~60	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	
研 修 員	9,214	3							6,361	3	24,474	5	24,585	8	64,634	19
専 門 家	25,254	14													25,254	14
調 査 団	44,178	16													44,178	16
協 力 隊																
機 材 供 与	357														357	
そ の 他	2,614														2,614	
合 計	81,617	33							6,361	3	24,474	5	24,585	8	137,037	49

(2) 形態別・分野別

マ ル タ 形 態	分 野 人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ 1	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	19		4	1		1	2	1			1		6		1		1		1			64,634
専 門 家	14				3								7		4							25,254
調 査 団	16					16																44,178
協 力 隊																						
機 材 供 与																						357
そ の 他																						2,614
合 計	49		4	1	3	17	2	1			1		13		1	4	1		1			137,037

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
44年度	1														1							
45 "																						
46 "																						
47 "																						
48 "																						
49 "																						
50 "																						
51 "																						
52 "	2													2								8,270
53 "																						944
54 "																						
55 "																						
56 "																						
57 "																						
58 "																						
59 "																						
60 "																						
61 "																						
62 "																						
63 "																						
元 "	3		1											2								6,361
2 "	5		1	1			1											1		1		24,474

マルク

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
3年度	8		2			1	1	1			1		2									24,585
合計	19		4	1		1	2	1			1		6		1		1		1			64,634

マ
ル
タ

専門家派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
50年度	7												7									11,424
51 "																						6,542
52 "	3				3																	3,021
53 "																						
54 "																						
55 "																						
56 "																						
57 "																						
58 "																						
59 "	4															4						4,624
合計	14				3								7			4						25,611

モ ナ コ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 及び 形態	年度	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員																	
専 門 家																	
調 査 団								2,430	2							2,430	2
協 力 隊																	
機 材 供 与																	
そ の 他																	
合 計								2,430	2							2,430	2

モ
ナ
コ

(2) 形態別・分野別

形 態	分 野	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源				
研 修 員																						
専 門 家																						
調 査 団		2				2																2,430
協 力 隊																						
機 材 供 与																						
そ の 他																						
合 計		2				2																2,430

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

モ ナ コ	分野	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
	63年度																							2,430
	合計																							2,430

オランダ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 及び人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研 修 員			7														7
専 門 家																	
調 査 団						851											851
協 力 隊																	
機 材 供 与																	
そ の 他																	
合 計			7			851											851 7

オランダ

(2) 形態別・分野別

形 態	分 野	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員		7								1	2												4	
専 門 家																								
調 査 団																								851
協 力 隊																								
機 材 供 与																								
そ の 他																								
合 計		7								1	2												4	851

2. 事業別実績

[一般の技術協力]

研修員受入事業

分野 オレンジ	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
29～47年度	7							1	2												4	
合計	7							1	2												4	

(開発調査方式技術協力)

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	援助機関におけるコン サルタント契約実態調 査		62				851

オランダ

ノールウェー

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

ノールウェー 形態	年度 及び人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員																	
専 門 家								38									38
調 査 団																	
協 力 隊																	
機 材 供 与																	
そ の 他																	
合 計								38									38

(2) 形態別・分野別

ノールウェー 形態	分 野 人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)		
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化						
研 修 員																								
専 門 家																								38
調 査 団																								
協 力 隊																								
機 材 供 与																								
そ の 他																								
合 計																								38

2. 事業別実績

(一般の技術協力)

専門家派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
63年度																						38
合計																						38

ノールウエー

ポーランド

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

ポーランド 形態	年度		6 1		6 2		6 3		元		2		3		累 計	
	経費 及び 人数	人数	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研 修 員	4,747	(7)							32,995	50	154,395	106	304,716	104	496,853	(7) 260
専 門 家									3,119	1	3,252	1	5,954	4	12,325	6
調 査 団									14,113	5	83,963	28	483,860	73	581,936	106
協 力 隊																
機 材 供 与									606		48,717		177		49,500	
そ の 他																
合 計	4,747	(7)							50,833	56	290,327	135	794,707	181	1,140,614	(7) 372

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

形態	分 野	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー		商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員		(7) 260	5	53		5	2	4	(1) 26			(2)		(3) 9	4	139			(1) 13					496,853
専 門 家		6	1											2	2		1							12,325
調 査 団		106	5		7	50									34							10		581,936
協 力 隊																								
機 材 供 与																								49,500
そ の 他																								
合 計		(7) 372	11	53	7	55	2	4	(1) 26			(2)		(3) 11	38	141		1	(1) 13			10		1,140,614

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績
〔一般の技術協力〕
研修員受入事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
29～ 47年度	(6)										(2)		(3)						(1)			60
48 "																						
49 "																						
50 "																						
51 "																						
52 "																						
53 "	(1)							(1)														1,047
54 "																						3,640
55 "																						
56 "																						
57 "																						
58 "																						
59 "																						
60 "																						
61 "																						
62 "																						
63 "																						
元 "	50														50							34,395
2 "	106	4	21					21					5		50				5			157,517
3 "	104	1	32		5	2	4	5					4	4	39				8			304,716
合 計	(7)260	5	53		5	2	4	(1)26			(2)		(3)9	4	139				(1)13			501,375

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

ポ
ー
ラ
ン
ド

専門家派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
2年度	1																1					2,068
3 "	4											2		2								6,131
合計	5											2		2			1					8,199

青年海外協力隊派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
元年度																						3,119
2 "																						1,240
合計																						4,359

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

No	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機 材 供 与 経 費 (千円)
1	医療用機材	ワルシャワ中央小児医療センター	2	4,728
計	1 件			4,728

ポーランド

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
医療協力計画		2						1,184			1,184	

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	総合交通計画調査	ポーランド全国の輸送手段・施設を対象とした調査を行い、2005年を目標とする総合交通に係るマスタープランを策定し、これに基づく短・中期の優先実施計画を提案するものであり、平成2年度は事前調査を実施し、実施細則（S/W）を締結するとともに調査計画作成のための国内作業を実施した。 平成3年度は平成2年度に引き続き本格調査を実施し、中間報告書まで作成した。	2	事前調査	2. 11. 3～2. 11. 12	8	} 11,866
				"	実施調査	(業務実施契約)	
			3	"	3. 5. 20～4. 3. 15	42	287,132
2	ポズナニ市廃棄物処理計画	ポーランド西部に位置するポズナニ市を対象として2010年を目標とする都市廃棄物処理計画マスタープランを策定し、優先プロジェクトのフィージビリティ調査を行うものであり、平成3年度は事前調査を実施し、実施細則（S/W）を締結するとともに、本格調査に着手した。	3	事前調査	3. 11. 16～3. 12. 3	7	} 77,632
				"	実施調査	4. 4. 7～4. 7. 30	

海外開発計画調査事業

ポーランド

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	鉱工業プロジェクト選定確認		元	海	2. 3. 17~2. 3. 30	(11)	6,366
2	コジェニツェ発電所排煙脱硫対策	既設のコジェニツェ石炭火力発電所の排煙脱硫対策の最適計画を策定し、その技術的・経済的フィージビリティを検討する。 平成2年度は、本件に関連するデータの収集と解析のための現地調査を行った。 石炭火力発電所における排煙脱硫対策調査及び排煙脱硫処理技術に係るセミナー等を通じて、ポーランド側のカウンターパートへの技術移転を図る。 平成3年度は、概念設計及び経済評価等を実施し最終報告書を提出した。	2	海	2. 10. 9~2. 10. 22	7	80,143
			"	"	3. 2. 24~3. 3. 24	8	
			3	"	3. 7. 29~3. 8. 27	10	112,211
"	"	3. 11. 11~3. 11. 22	9				
3	鉱工業プロジェクト選定確認		2	海	2. 6. 9~2. 6. 22	6	6,501

[援助効率促進事業]

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	プロジェクト確認調査	(ハンガリー、ポーランド)	元	プロジェクト確認調査	2. 1. 27~2. 3. 26	(6)	2,823
2	プロジェクト形成調査	(ハンガリー、ポーランド)	元	プロジェクト形成調査	元. 12. 16~元. 12. 25	(1)	405
3	案件形成発掘		元	企画調査員	2. 1. 27~2. 4. 26	1	3,724
4	プロジェクト形成調査	社会インフラ	2	プロジェクト形成調査	3. 4. 10~3. 4. 25	5	5,556
5	プロジェクト形成調査		2	プロジェクト形成調査	2. 12. 16~2. 12. 24	1	19,207
6	プロジェクト形成調査	廃棄物処理	3	プロジェクト形成調査	3. 4. 10~3. 5. 10	5	6,885

ポルトガル

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 及び人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員		2,861	1					2,460	1	5,829	1	9,250	2	12,161	4	32,561	9
専 門 家																	
調 査 団								2,906	3	87		8,847	6	112,076	26	123,916	35
協 力 隊																	
機 材 供 与																	
そ の 他																	
合 計		2,861	1					5,366	4	5,916	1	18,097	8	124,237	30	156,477	44

ポルトガル

(2) 形態別・分野別

分野 形態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源				
研 修 員	9										3		1		1	1		3			32,561
専 門 家																					
調 査 団	35	3											32								123,916
協 力 隊																					
機 材 供 与																					
そ の 他																					
合 計	44	3									3		33		1	1		3			156,477

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
59年度	1									1												2,861
60 "																						
61 "																						
62 "																						
63 "	1									1												2,460
元 "	1																			1		5,829
2 "	2									1										1		9,250
3 "	4											1		1	1				1			12,161
合計	9									3		1		1	1				3			32,561

〔開発調査方式技術協力〕

海外開発計画調査事業

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	鉱工業プロジェクト選 定確認調査		元	海			87
2	アベイロ・ピセウ地域 工業振興総合計画	アベイロ・ピセウ地域に係る工業開発、投資促進のマスタープランを作成することを目的とする。平成2年度は予備調査を実施し、要請の内容及び背景の確認を行った。 平成3年度は本格調査を実施し、最終報告書を作成した。	2	海	2. 12. 3～2. 12. 14	6	8,847
			3	" (事)	3. 4. 8～3. 4. 14	4	} 112,076
			"	" (本)	3. 6. 25～3. 2. 16	22	

ポ
ル
ト
ガ
ル

〔援助効率促進事業〕

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	プロジェクト確認調査		63	プロジェクト 確認調査	63. 6. 18～63. 6. 25	3	2,906

ルーマニア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員	175	(8)											90,511	28	90,686	(8) 28
専 門 家	8,734	9													8,734	9
調 査 団													6,672		6,672	
協 力 隊																
機 材 供 与	2,038												14,657		16,695	
そ の 他																
合 計	10,947	(8) 9											111,840	28	122,787	(8) 37

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

形態	分 野 人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	(8) 28	1	2		(2)	(1)		(2)					(3)		23				1	1		90,686
専 門 家	9				9																	8,734
調 査 団																						6,672
協 力 隊																						
機 材 供 与																						16,695
そ の 他																						
合 計	(8) 37	1	2		(2) 9	(1)		(2)					(3)		23				1	1		122,787

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
29～47年度	(2)							(2)														
48 "	(2)				(2)																	
49 "																						
50 "																						
51 "																						
52 "																						
53 "																						
54 "	(1)					(1)																175
55 "																						
56 "																						
57 "																						
58 "	(3)												(3)									
59 "																						
60 "																						
61 "																						
62 "																						
63 "																						
元 "																						
2 "																						
3 "	28	1	2												23				1	1		91,932
合計	(8)28	1	2		(2)	(1)		(2)					(3)		23				1	1		92,107

ルーマニア

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
52年度	9				9																	10,772
合計	9				9																	10,772

ルーマニア

〔援助効率促進事業〕

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	プロジェクト形成調査	(ブルガリア、ルーマニア) 案件形成 (環境・社会インフラ)	3	プロジェクト 形成調査	3. 8. 5～3. 10. 8	4	5,251

ル
マ
ニ
ア

〔災害援助等協力事業〕

国際緊急援助隊派遣

年度	災害区分	災害発生時期	災害の規模	派遣の目的	派遣期間	チームの構成	救 援 物 資	所要経費 (千円)
3	洪水	平成3年7月～	死者 約 70人 負傷者 約 50人 被災者 約 2万人		物資供与時期 平成3年8月		医薬品、医療資材、毛布、 ファミリーテント、 プラスチックシート	14,657

ソヴィエト連邦

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

ソ ヴ ィ エ ト 連 邦	経 費 及 び 人 数	年度 27~60		61		62		63		元		2		3		累 計		
		経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	
	研 修 員		(1)														(1)	
	専 門 家							37,314	33	760	1						38,074	34
	調 査 団																	
	協 力 隊																	
	機 材 供 与							71,212		23,518							94,730	
	そ の 他																	
	合 計		(1)					108,526	33	24,278	1						132,804	(1) 34

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

形 態	分 野	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)		
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化						
	研 修 員	(1)				(1)																			
	専 門 家	34																				34		38,074	
	調 査 団																								
	協 力 隊																								
	機 材 供 与																								94,730
	そ の 他																								
	合 計	(1) 34				(1)																34		132,804	

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化					
29～47年度	(1)				(1)																		
合計	(1)				(1)																		

ソウイェト連邦

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

[災害援助等協力事業]

専門家派遣

年度	災 害 名	期 間	人 数	経 費 実 績 (千円)
元	アルメニア地震			3,090

国際緊急援助隊派遣

年度	災害区分	災害発生時期	災 害 の 規 模	派遣の目的	派遣期間	チームの構成	救 援 物 資	所要経費 (千円)
63	地震	12月7日	死者 約3.5万人 被災者 約70万人	①被災状況の把握 ②相手国のニーズ調査 ③援助物資の供与 ④応急対策・災害復旧に関する技術的助言及び防災対策に関する提言	①12月11日～17日 ② 13日～18日 ③ 16日～20日 ④ 18日～28日 ⑤平成元年2月19日～3月7日	①先遣隊 4名 ②業務調整員 1名 ③業務調整員 1名 ④第一次災害専門家チーム 10名 ⑤第二次災害専門家チーム 17名	テント、毛布、発電機、浄水機、救急医療セット、リール、地震計等、スリーピング・マット、簡易水槽、コード	108,526
元	液化ガス・パイプライン爆発事故	6月4日	死者 190人 行方不明者 272人 負傷者 706人	①被災状況の把握 ②援助物資の供与 ③援助ニーズの調査	6月14日～6月20日	業務調整員 1名	超音波吸入器、注入用ポンプ、流動食	21,188

スペイン

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 及び 人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員																	
専 門 家								25	3							25	3
調 査 団																	
協 力 隊																	
機 材 供 与																	
そ の 他																	
合 計								25	3							25	3

スペイン

(2) 形態別・分野別

分野 形態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員																							
専 門 家	3																			3			25
調 査 団																							
協 力 隊																							
機 材 供 与																							
そ の 他																							
合 計	3																			3			25

2. 事業別実績

(一般の技術協力)

専門家派遣事業

分野	合計	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
年度	人数																					
63年度																						25
合計																						25

スウェーデン

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 及び 人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員																	
専 門 家										1,825							1,825
調 査 団																	
協 力 隊																	
機 材 供 与																	
そ の 他																	
合 計										1,825							1,825

スウェーデン

(2) 形態別・分野別

分野 形態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)		
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化						
研 修 員																								
専 門 家																								1,825
調 査 団																								
協 力 隊																								
機 材 供 与																								
そ の 他																								
合 計																								1,825

2. 事業別実績

[プロジェクト方式技術協力]

保健医療協力事業

スウェーデン

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
国際開発公社		元						1,825			1,825	

ス イ ス

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度		61		62		63		元		2		3		案 計	
	27~60	人数	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研 修 員		(3)														(3)
専 門 家	9,062	(7) 7	1,347		3,989	5		1	4,687	(1) 1	5,507	7	3,683		28,875	(8) 21
調 査 団	3,310					2		4			569				3,879	6
協 力 隊													(1)			(1)
機 材 供 与																
そ の 他	1,031				1,459										2,490	
合 計	14,003	(10) 7	1,347		5,448	7		5	4,687	(1) 1	6,076	7	3,683	(1)	35,244	(12) 27

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ 1	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)			
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化							
研 修 員	(3)															(3)									
専 門 家	(8) 21		(1)				(4)												(2) 19	(1) 2				28,875	
調 査 団	6	2																				4		3,879	
協 力 隊	(1)																					(1)			
機 材 供 与																									
そ の 他																									2,490
合 計	(12) 27	2	(1)				(4)									(3)			(2) 19	(1) 2	(1) 4			35,244	

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

[一般の技術協力]

研修員受入事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
29～47年度	(3)														(3)							
合計	(3)														(3)							

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化					
29～47年度	(1)		(1)																			3,411	
48 "																							
49 "																							
50 "																							
51 "																							
52 "																							
53 "	(2)						(2)																
54 "																							
55 "	(1)						(1)																
56 "																							
57 "																							
58 "	(1)						(1)																

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
59年度																							
60 "																							
61 "																							
62 "																							
63 "																							
元 "	(1)																					(1)	
合 計	(6)		(1)																			(1)	3,411

ス
イ
ス

(注) カッコは国際機関専門家で外数である。

青年海外協力隊派遣事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
57年度																							2,191
58 "																							
59 "																							
60 "																							1,096
61 "																							
62 "																							
63 "																							
元 "																							

分野 ス イ ス	年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 買 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
	2年度																						569	
	3 "	(1)																					(1)	
	合 計	(1)																					(1)	3,856

(注) カッコは国際機関協力隊で外数である。

[プロジェクト方式技術協力]

保健医療協力事業(単発専門家)

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
国際協力策定会議		62					1	1,412			1,412	
エイズ予防対策		62						657			657	
WHO協議		元					1	2,198			2,198	
		2					5	3,782			3,782	
		3					(2)	2,819			2,819	

ス
イ
ス

[災害援助等協力事業]

専門家派遣

年度	災 害 名	期 間	人 数	経 費 実 績 (千円)
61	救助システム等実態調査	61. 6. 14~61. 6. 22	(3)	1,347
62	備蓄基地調査	63. 1. 16~63. 1. 27	(3)	1,920
62	”	63. 3. 5~63. 3. 12	2	
元	UNDRO災害援助専門会議	元. 10. 17~元. 10. 25	3	2,489
2	国際医療災害会議	2. 10. 15~2. 10. 21	2	1,725
3	スイス国際捜索・救助検討会議出席	4. 4. 5~4. 4. 11	1	864

英 国

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 及び人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員			(2) 2														(2) 2
専 門 家		1,305	1							1,825							3,130 1
調 査 団		3,346	1			1,718	1	5,307				1,036					11,407 2
協 力 隊																	
機 材 供 与																	
そ の 他		139				208											347
合 計		4,790	(2) 4			1,926	1	5,307		1,825		1,036					14,884 (2) 5

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ 1	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 計 累 計 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員	(2) 2					(2)																2	
専 門 家	1																			1			3,130
調 査 団	2	1	1																				11,407
協 力 隊																							
機 材 供 与																							
そ の 他																							347
合 計	(2) 5	1	1			(2)													1		2		14,884

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
29～47年度	(2)2					(2)																2
合計	(2)2					(2)																2

英国

(注) カッコは国際機関研修員で外教である。

[プロジェクト方式技術協力]

保健医療協力事業

英
国

プロジェクト名	概要	年 度 元	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
海外開発庁								1,825			1,825	

[開発調査方式技術協力]

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	援助機関におけるコン サルタント契約実態調 査		62				851

[援助効率促進事業]

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	技術協力実施状況調査		63	横断的評価調 査	63. 7. 9~63. 7. 20	(6)	5,307

米 国

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員		(2) 9												1		(2) 10
専 門 家	4,293	(2) 9	2,032		4,042	5			1,825	9	3,574	7	1,058	2	16,824	(2) 32
調 査 団	5,728	3	3,138	3	14,797		6,312				1,048				31,023	6
移 住 者		388														388
機 材 供 与	9										94,800				94,809	
そ の 他	2,503		662		6,379										9,544	
合 計	12,533	(4) 409	5,832	3	25,218	5	6,312		1,825	9	99,422	7	1,058	3	152,200	(4) 436

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ 1	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員	(2) 10		1			(2)		2			2		2				2		1				
専 門 家	(2) 32		2															1	18	11	(2)		16,824
調 査 団	6	3															2					1	31,023
移 住 者	388																					388	
機 材 供 与																							94,809
そ の 他																							9,544
合 計	(4) 436	3	3			(2)		2			2		2				4	1	19	11	(2) 389		152,200

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

米 国	分野	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
	29～ 47年度	(2)9		1			(2)					2			2				1		1			
	合 計	(2)9		1			(2)					2			2				1		1			

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

米 国	分野	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
	60年度	(2)1																	1				(2)	913
	61 "																							
	62 "																							
	63 "																							
	元 "																							
	2 "	2		2																				
	合 計	(2)3		2															1				(2)	913

(注) カッコは国際機関専門家以外数である。

青年海外協力隊派遣事業

分野 年度	合 計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
56年度																						1,340	
57 "																							
58 "																							
59 "																							
60 "																							2,665
61 "																							751
62 "																							
63 "																							
元 "																							
2 "																							1,048
合計																							5,804

米
国

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

米 国	プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
				調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
								継続	新規				
	ユニセフ協議		元						3	1,825		1,825	
			3						2	1,058		1,058	

農林水産協力事業

米 国	プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
				調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
								継続	新規				
	大規模森林回復技術調査		63	基礎調査	63. 7. 26~ 63. 8. 8	(5)	6,312					6,312	

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	国際機関におけるコンサルタント契約実態調査		62				1,451
2	援助機関におけるコンサルタント契約実態調査		62				1,096
3	都市交通機関における軌道系交通システム導入に係る研究		62				4,431
4	プロジェクト形成基礎	(コスタ・リカ, グアテマラ, ホンデュラス, 米国)	62	基礎調査	63. 4. 6~63. 4. 25	(7)	1,063

海外開発計画調査事業

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	財務経済分析基本ガイドライン策定計画調査 (送配電網)	<p>フィージビリティ・レポート(F/R)及び一般出版物等により財務・経済分析について研究するとともに、当事業団のF/Rを利用する立場及び学術的立場に立つ人々から広く意見を聴取し、これらを取りまとめ、鉱工業計画調査部における財務・経済分析の基本的ガイドラインを策定することを目的とする。</p> <p>昭和62年度は、世銀、ADB等国際援助機関を訪問し、調査、意見交換を行い、その結果を報告書に取りまとめた。</p> <p>(フィリピン、米国)</p>	62	海	63. 1. 20~63. 1. 29	(3)	6,756

米
国

[災害援助等協力事業]

専門家派遣

年度	災 害 名	期 間	人 数	経 費 実 績 (千円)
61	救助システム等実態調査	61. 6. 25~61. 7. 11	(6)	2,032
62	援助隊会議	62. 5. 9~62. 5. 19	5	4,042
2	RESPONECE'90専門	2. 5. 26~2. 6. 3	5	2,809
"	備蓄基地設置	2. 6. 3~2. 6. 10	1	765
"	"			94,800

ユーゴスラヴィア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員	101,183	(17) 52	56,616	(1) 20	34,955	12	36,671	15	30,301	9	38,050	14	44,230	13	342,006	(18) 135
専 門 家	34,074	29	15,718	11	68		9,009	4	3,036	3	4,351	3			66,256	50
調 査 団	13,624	9	5,969	4	3,833	4	2,439		7,559	4	7,341		1,421		42,186	21
協 力 隊																
機 材 供 与	110,802		44,590		58,405		47,954		1,106		25,853		23,946		312,656	
そ の 他	5,701		2,470		833										9,004	
合 計	265,384	(17) 90	125,363	(1) 35	98,094	16	96,073	19	42,002	16	75,595	17	69,597	13	772,108	(18) 206

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

形態	分 野	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源					科 学 ・ 文 化
研 修 員		(18) 135	(1) 1	18		(6) 15	(1) 8	15	(2) 5	2		(1) 7		(3) 18	(2) 4	(1) 3		4	(1) 34		1	342,006	
専 門 家		50	1			5	2		1	1		1		2			2		35			66,256	
調 査 団		21																	21			42,186	
協 力 隊																							
機 材 供 与																						312,656	
そ の 他																						9,004	
合 計		(18) 206	(1) 2	18		(6) 20	(1) 10	15	(2) 6	3		(1) 8		(3) 20	(2) 4	(1) 3		2	4	(1) 90		1	772,108

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
32年度	(1)														(1)							
33 "																						
34 "																						
35 "																						
36 "																						
37 "	(1)							(1)														
38 "	(3)				(1)			(1)			(1)											
39 "	(1)				(1)																	
40 "																						
41 "	(1)				(1)																	
42 "																						
43 "	(2)				(1)									(1)								
44 "	(1)				(1)																	466
45 "																						
46 "																						
47 "																						
48 "																						
49 "																						
50 "																						
51 "																						
52 "	(2)	(1)											(1)									294
53 "																						

ユーゴスラヴィア

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
54年度	(1)1				1							(1)										1,503
55 "	3				2	1																5,516
56 "	3					1					1	1										8,876
57 "	(1)8				(1)1	1				2			1				1	1		1		14,881
58 "	(1)3				1	(1)		1									1					8,423
59 "	15		3		2		2	1				3							4			9,091
60 "	(2)19	1	2		2	2	3		1			(1)1	(1)1	1					5			51,234
61 "	(1)20				1	2	4	1		2			1	1			1	(1)7				56,616
62 "	12		1		2	1	2					1					1	4				34,955
63 "	15		2		2		1			2			1					7				36,671
元 "	9		5				1	1				1						1				30,301
2 "	14		2		1		1		1			3		1				5				38,050
3 "	13		3				1	1				8										45,651
合計	(18)135	(1)1	18		(6)15	(1)8	15	(2)5	2	(1)7		(3)18	(2)4	(1)3			4	(1)34		1		343,427

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
38年度	3				3																	2,608
39 "																						
40 "																						
41 "																						
42 "																						
43 "																						
44 "																						
45 "																						
46 "																						
47 "																						
48 "																						
49 "																						
50 "																						
51 "	3	1						1	1													3,608
52 "																						20
53 "																						
54 "																						
55 "																						
56 "	1																					1,026
57 "	3																	2				3,610
58 "	2				2																	3,504
59 "	2					1					1											2,249

ユーゴスラヴィア

ユーゴスラヴィア

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
60年度																						74
61 "																						130
62 "																						68
63 "																						
元 "																						87
2 "	1					1																1,069
合計	15	1			5	2		1	1		1		2					2				18,053

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
PHC生涯教育 Continuing Education for Primary Health Care 協定等の種類：R/D 署名年月日：59.11.26 協力期間： (当初) 59.11.26～ 元.11.25 (F/U) 元.11.26 ～2.11.25 相手国機関：保健機構 経済研究所Aシュタ ンパー公衆衛生学院	ユーゴスラヴィア保健医療行政においてはプライマリー・ヘルス・ケアの充 実が重点目標とされ、その達成のためプ ライマリー・ヘルス・ケア従事者の生涯 教育に力を入れてきたが、必ずしも初期 の成果をあげるにいたっていない。本プ ロジェクトはプライマリー・ヘルス・ケ アのための生涯教育に新しいメディア (視聴覚教材、コンピューター)を導入 することにより従来の教育方法の欠点を 克服することをねらいとし、そのための モデル・システムをクロアチア共和国内 に確立しようとするものである。 昭和61年7月には、「教育メディア・ センター」が竣工し、本格的教材作成が 開始された。 昭和62年11月にはシュタンパー学院内 に昭和60年度供与機材が設置され、「教 育メディア・センター」が竣工し本格的 な教材作成作業が開始された。 〔カウンターパート受入実績〕	57	事前調査	57. 7. 4～ 57. 7. 19	5	5,394					5,394	
		58				⊕ 38		5	5,658			5,696
		59	実施協議	59.11.15～ 59.11.29	4	⊕ 176 4,901		3	3,809			8,886
		60	(同上報告 書作成)			2,895		6	7,410		⊕ 3,056 107,500	120,861
		61	計画打合	61. 5. 14～ 61. 5. 25	4	5,969		11	15,588		44,590	66,147
		62	"	62. 5. 2～ 62. 5. 17	4	3,833					58,405	62,238
		元				2,439		4	9,009	ビデオ機器, コンピューター	47,954	59,402
		2				3,712		3	2,949	輸送費	1,106	7,767
		3				7,341		2	2,097	A V機器	25,853	35,291
										コンピューター 機器	23,946	23,946
医療協力計画		2						1,185		1,185		

ユーゴスラヴィア

保健医療協力事業（大学教授）

ユー
ゴー
ス
ラ
ウ
イ
ア

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
超音波医学セミナー		51					1	744			744	

〔援助効率促進事業〕

No.	プロジェクト名	概要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	H C生涯教育プロジェクト評価		元	案件別評価調査	元. 11. 22～元. 11. 29	4	3,847

ヨーロッパ地域等一般
 [プロジェクト方式技術協力]
 保健医療協力事業 (単発専門家)

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
単発派遣	{ 米国, スイス, スウェーデン, デン マーク, ドイツ, 英国 }	61						7	86,151		86,151	

農林水産協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
大規模森林回復技術		3	基礎調査	3.11.11~ 3.12.24	5	11,395				128	11,523	

産業開発協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
東欧生産性向上		3	基礎調査	4.1.11~ 4.1.22	4	6,465					6,465	

区分不能(ヨーロッパ地域等)

[災害援助等協力事業]

専門家派遣

区分不能(ヨーロッパ地域等)

年度	災 害 名	期 間	人 数	経 費 実 績 (千円)
63	備蓄			100,000
3	ヨーロッパ災害援助等協力専門家派遣	3.12.1~3.12.16	2	1,920

世 界 一 般

世界一般

[一般の技術協力に係る機材供与]

単独機材供与事業

No	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機 材 供 与 経 費 (千円)
1	稲作機械化機材	インドネシア農務省等7ヵ所(集団コース)	55	12,999
2	漁業訓練機材	フィジー漁業省等15ヵ所(集団コース)	55	66,490
3	沿岸漁業普及用機材	15ヵ所(集団コース)	56	45,436
4	化学実験用機材	10ヵ所(集団コース)	56	41,169
5	プラスチック機材	6ヵ所(集団コース)	57	1,465
6	職業訓練指導員養成用機材	9ヵ所(集団コース)	57	61,261
7	鋳造技術用機材	10ヵ所(集団コース)	57	62,308
8	農業機械整備コース用機材	7ヵ所(集団コース)	58	18,370
9	農業機械整備用機材	2ヵ所(集団コース)	59	5,127
10	地震工学用機材	17ヵ所(集団コース)	59	80,449
11	養殖用機材	6ヵ所(集団コース)	59	29,583
12	写真測量技術コース用機材	10ヵ所(集団コース)	59	30,669
13	稲作普及用機材	10ヵ所(集団コース)	60	42,015
14	科学情報用機材(アンデス5ヵ国向け)	科学技術省	62	2,231
15	麻葉取締用機材(コロンボ・プラン地域)	コロンボ・プラン事務局	62	5,873
計	15 件			505,445

区分不能(世界)

[プロジェクト方式技術協力]

社会開発協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
スリ・ランカ, タイ, バキスタン, イラン, アフガニスタン調査		39			1	633					633	

区分不能(世界)

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
パキスタン、タイ、イ ラン巡回指導	パキスタン電気通信研究センター、タ イ・モンクット王工科大学、イラン電気 通信研究センターの3センターに対する 巡回指導。	47	巡回指導		2	1,220						1,220
スリ・ランカ、トルコ 巡回指導	スリ・ランカ高等水産講習所およびト ルコ・イスタンブール水産職業高等学校 に対する巡回指導。	49	巡回指導	49.11.26~ 49.12.9	2	1,380						1,380
スリ・ランカ、シリア 巡回指導	スリ・ランカ高等水産講習所および鶏 病予防センターに対する巡回指導。	51	巡回指導	51.9.6~ 51.9.25	3	2,347						2,347
資料作成費、システム 管理経費等		61				71,862						71,862
実施計画書作成費、報告書 作成費、会議費等		62				79,059		10,599				89,658
在外事務所運営経費		2				8,466		31,637				40,103
		3						26,799				26,799
プロジェクト調整員会 議		2				42,371		9,381				51,752
国際協力サービスセン ター業務委託		2				37,045				10,337		47,382
電算機等管理費負担分		2				63,827						63,827

区分不能(世界)

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
プロジェクト外事業費 負担分		2				84,067					84,067	
国総研への拠出		2				8,252					8,252	
プロジェクト運営会議 関係経費		3				25,301		17,367			42,668	
部内庶務経費		3				3,748					3,748	
部内業務委託経費		3				55,847				7,703	63,550	
共通経費、業務委託 経費		3				64,963					64,963	
広報関係経費		3				25,632					25,632	
情報管理関係経費		3				72,317					72,317	

保健医療協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
インド、アフガニスタ ン、イラン、ケニア医 療機材修理班	インド・救らいセンター、アフガニスタ ン・国立WAK病院、イラン・テヘラ ン大学産業衛生学部、同大学センター、 フィローズガル病院、ケニア・ケニヤッ	48	機材修理	48.11.29~ 48.12.22	4	5,564					5,564	

区分不能(世界)

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家			機材供与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)	
							継続	新規				
	夕病院およびナクール病院を巡回し、既供与済機材の修理・保守業務を行った。											
インド、イラン医療機 材修理班	インド国の救らいセンター(JALMA)、イラン国のテヘラン大学医学部、公衆衛生学部を巡回し、既供与済機材の修理、保守業務を行った。	50	機材修理	50.12.9~ 50.12.23	3	3,037						3,037
インド、アフガニスタ ン医療機材修理班	インドのらい研究、アフガニスタンのWAK病院の2プロジェクトを巡回し、既供与済機材の修理の保守業務を行った。	51	機材修理	52.2.8~ 52.2.27	5	7,316						7,316
システム管理経費等		61				53,661						53,661
国内支援体制整備費、 マラリア対策国内研修 費等		62				45,435			72,485			117,920

保健医療協力事業(単発専門家)

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家			機材供与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)	
							継続	新規				
フィリピン、フィジー、 ソロモン、トンガ 環境衛生医療行政		55						4	3,189			3,189
		56							178			178

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
ウイルス、病理学、医 動物学	(ザイール、スイス)	59				Ⓔ (46)		4	(6,925)		(6,971)	

区分不能(世界)

人口家族計画協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
報告書作成費等		61				13,710					13,710	
人口家族計画国内委員 会経費等		62				5,423					5,423	

農林水産協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
インド、アラブ首長国 連邦、クウェイト、エ ジプト乾燥地域農業基 礎調査	中近東及びアフリカ地域諸国からの乾 燥地農業開発に関する協力要請の増大に かんがみ、これら地域の自然条件、経 済、社会条件及び農業の実態を把握し て、今後、協力すべき開発手法に関する 基礎的調査研究を行うことを目的として 本調査団は派遣され、インド、アラブ首 長国連邦、クウェイト、エジプトの4カ 国の農業試験研究機関、農業開発プロジ	50	基礎調査	51. 2.15~ 51. 3.14	5	13,498					13,498	
		51	(同上報告書)			Ⓔ 853					853	

区分不能(世界)

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
	エクトを訪問、視察し、乾燥地農業に関する討議、資料収集を行った。											
インド、イラン乾燥地 域農業基礎調査	中近東・アフリカ地域等の乾燥地域に対する農業協力の要請とその必要性が増大しているところ、これら地域の自然条件および農業の実態等を調査し、今後協力すべき開発手法に関する基礎的調査研究を行う。 本調査は、昭和50年度に実施した全般的基础調査をふまえ、(1)農業と塩類の問題、(2)水利開発、(3)開発に伴う社会的経済的諸問題等実地的、具体的な項目についてインド、イランの2カ国において現地調査を実施した。	51	基礎調査	51. 10. 10～ 51. 11. 9	5	17,031					17,031	
パキスタン、スリ・ランカ、アフガニスタン 南西アジアプロジェクト・ファインディング 調査	南西アジア地域のうち、パキスタン、スリ・ランカ、アフガニスタンを対象とした農業技術協力プロジェクトの可能性についてのプロジェクト・ファインディング調査。	51	事前調査	51. 9. 26～ 51. 10. 25	5	6,573					6,573	
フィリピン、タイ、コロンビア、コストリカ、メキシコ農林水産	多様化している国際協力の要請に対応できる専門家の養成・確保が急務とされており、このため、国内外における総合	55	基礎調査	56. 3. 2～ 56. 3. 21	4	13,981					13,981	

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人 数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
業協力における人材養成システムに関する調査	<p>的な国際協力事業の必要性等についても検討されてきている。</p> <p>農林業分野については気象条件に制約される特殊性から国内の研修のみでは限界があり、熱帯地域等自然条件・社会条件を備えた海外での研修の必要性が認識されてきている。</p> <p>以上のような実情に鑑み、同調査は開発途上国に対する技術協力にライフ・ワークとして取り組む専門家（いわゆる「ライフワーク専門家」）の養成・確保・活用システムをも念頭に置きつつ、広く農林水産業協力の人材養成システムの一環として海外における農林業研修センターの設置運営に関して、その可能性を含め調査を行い、可能な場合における①センター設置に関する基本構想②考えられ得るセンター設置・運営システム（モデル）を検討した。</p>											
インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ケニア、メキシコ、コスタ・リカ、コロンビア家畜衛生計画基準	<p>開発途上国における国民の蛋白源確保のために畜産の占める位置は重要であるにもかかわらず、主として家畜伝染病等疾病のため、その生産性は極めて低い。そのため近年本分野での技術協力の要請が</p>	56	基礎調査	57. 3. 30～ 57. 4. 23	8	12,623					12,623	
		57	(同上報告書)			10,944					10,944	

区分不能(世界)

区分不能
(世界)

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
	<p>増えてきている。一方、本分野でのわが国の協力実績は地域的に東南アジアに重点が置かれており、それ以外の地域では経験の蓄積あるいは情報の不足等から十分な対応ができないのが現状である。</p> <p>以上の観点から開発途上国からの多様な要請に今後積極的に取り組んでいくため、プロジェクトの選定から、計画の立案、運営・実施、技術移転、評価、相手国への移管そしてフォローアップまでの一連の行程において規範となるべきマニュアルの必要性が痛感されてきている。</p> <p>調査団はアジア班と中南米・東アフリカ班とに分かれ、オーストラリア、ローマ（FAO）で先進国、あるいは国際機関での家畜衛生プロジェクトの運営手法の研究を始めとして、インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ケニア、メキシコ、コスタ・リカ、コロンビア等開発途上国の家畜衛生、更にその基盤ともいうべき畜産の実態と問題点について、併せて国際機関や他の先進国の実施するプロジェクトの現状について調査を行った。</p>											

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
計画基準作成調査 (アグロフォレストリー)	開発途上国からわが国に対して要請される農林分野の技術協力は量的増加はもとより質的にも多様化してきており、従来わが国にとって馴染みの少ない分野においても対応が必要となる場合が多くなってきている。 アグロフォレストリーと呼ばれる農林複合経営の考え方も近年では開発途上地域での森林資源の急激な減少を阻止するものとして各国において研究が進められている。 本調査では、将来わが国が実施する林業開発協力プロジェクトの中にアグロフォレストリーの考え方を導入するための手引きの作成を目的として、イタリア、ケニア、フィリピン、ネパールにおいて情報収集や現地調査を行った。	57	基礎調査	57.10.26～ 57.11.7	3	} 17,415					17,415	
		"	基礎調査	57.11.29～ 57.12.14	5							
		58	(同上報告書作成)				337					
フィジー、チリ 南太平洋・中南米プロジェクト運営指導	フィジーおよびチリにおける水産プロジェクトに関し、事業の進捗状況を把握するとともに、問題点について先方機関と協議を行った。	58	巡回指導	58.11.19～ 58.12.5	1	} 8,540					8,540	
		"	巡回指導	58.11.24～ 58.12.5	4							
アジア・中南米モデルインフラ指導	農林業プロジェクトの基盤整備事業を進めるため、実施手続き等の指導チームを昭和59年1月から2月までペルー、ホン	58	巡回指導	58.1.27～ 59.7.26	3	} 5,127					5,127	
		"	巡回指導	59.3.5～ 59.3.10	2							

区分不能(世界)

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
	デュラス, パラグアイに, また同年3月にはインドネシアに派遣した。											
米国, ケニア, コスタ ・リカ, ソマリア, イ タリア半乾燥地造林計 画基準作成	近年, 地球的規模において森林の減少が著しい。森林の減少はすなわち, エネルギー源不足砂漠化等の生態系変化の呼び水となるため, 将来の人類生存上の死活問題として論議されるにいたり, 林業技術協力, 殊に森林造成分野の技術協力が要請されている。 わが国の森林造成分野における技術協力は, タイ, フィリピンに代表される亜熱帯雨林地域においては, その技術開発・移転手法は一応完成されつつあるといえる。しかし, 森林の減少がより深刻な問題となっている半乾燥地域においては, わが国の対応能力は十分なものとなっていないのが現状である。従って, 今後想定される半乾燥地域からの森林造成技術協力の要請に応えるために, それらの地域における造林技術のマニュアルを作成しておくことは重要なことである。 本調査においては, 半乾燥地域よりケニア, ソマリアを対象国として選定し, 現地調査を行うとともに, IBRD	59	開発基礎調査	59.10.21~ 59.11.5	2	} 24,042					24,042	
		"		59.12.1~ 59.12.15	5							

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
	・FAO等の国際機関も併せて訪問し、 国際機関・先進国の半乾燥地域に関して の研究・協力事例の調査及び現地実態に 即した森林造成マニュアルの作成を行っ た。											
アジア、南太平洋モデ ルインフラ指導	フィジーの稲作研究開発計画およびフ ィリピンのボホール農業振興センター計 画の基盤整備事業に関し、打合せを行う とともに指導・助言を行った。	60	巡回指導	61. 3. 14～ 61. 3. 26	3	2,972					2,972	
機材維持管理		3	機材維持管 理			8,322					8,322	
家畜飼料・飼養管理開 発	(タンザニア)	3	基礎調査	3. 7. 25～ 3. 8. 15	5	10,009					10,009	
平成3年度農林水産業 協力プロジェクト・リ ーダー会議		3				53,921					53,921	
現地業務費・事務所ブ ール分	(会計役事務所)	3						905			905	
その他の経費		3				1,316				1,905	3,221	
当年度調査団報告書	(会議費)	3				209					209	
	(国内旅費)	3				4,156					4,156	
	(報告書印刷費)	3				9,959					9,959	
当年度調査団資機材購 送費		3				5,157					5,157	

区分不能(世界)

区分不能(世界)

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
システム管理経費、収 集資料整備費等		01				124,752					124,752	
		02				122,933					122,933	
農林業協力費の諸経費		03				16,720			11,334		28,054	
		元				166,812					166,812	
		2				221,035					221,035	
植物遺伝資源協力プロ ジェクト技術支援事業 の業務委託経費		元	遺伝資源収 集・保存			20,026					20,026	
		2	"			20,786					20,786	
		3	"			7,389					7,389	
林業開発協力部諸経費		3				16,422					16,422	
林業水産開発協力部諸 経費		3				15					15	
農業開発協力部諸経費		3				66,274					66,274	
農林水産計画調査部諸 経費		3				166,956			3,224		170,180	
前年度調査団報告書		3				10,290					10,290	
前年度機材輸送費		3							122,884		122,884	

産業開発協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
実施計画費、海外事務所経費等		61				2,245			1,522		3,767	
リーダー会議		元				1,370					1,370	

区分不能(世界)

(開発調査方式技術協力)

開発調査事業

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	タンザニア、ナイジェリア、ブラジル、ボリヴィア、アフリカ・南米地図作成事業事前調査	地図作成に関する技術協力要請の内容、現状および実施の可能性についての予備調査を行った。 (ナイジェリア、タンザニア、ボリヴィア、ブラジル)	47	事前調査	48. 3. 10~48. 3. 31	5	6,770
			48	事前調査	48. 4. 1~48. 4. 4	(5)	(742)
2	経済技術協力調査	ASEAN5ヵ国およびバングラデシュ、ネパール、パキスタン、スリ・ランカ、中国を対象にわが国の経済・技術協力を効率的に実施するため、わが国経済技術協力の実績のレビュー、協力実施上の問題点についての意見交換を行うとともに、昭和56年度実施する経済・技術協力案件の選定、確認を行った。 また、セイシェル、ミクロネシア、マーシャル群島、パラオ、モルディブ、ジブティ等に対しては、わが国の経済・技術協力の仕組みを説明するとともに、今後の協力案件の発掘を行った。 (ASEAN諸国に対しては昭和52年度から年次協議を実施)	56	事前調査	56. 5. 11~56. 5. 21	7 (タイ、シンガポール)	3,031
			"	事前調査	56. 6. 23~56. 7. 10	11 (フィリピン、マレーシア)	3,412
			"	事前調査	56. 6. 8~56. 6. 20	8 (インドネシア)	3,287
			"	事前調査	57. 3. 16~57. 3. 20	5 (中国)	1,462
			"	事前調査	57. 2. 21~57. 2. 28	8 (スリ・ランカ)	4,153
			"	事前調査	57. 1. 28~57. 2. 6	7 (パキスタン)	3,605
			"	事前調査	56. 5. 13~56. 5. 23	6 (バングラデシュ)	2,678

区分不能(世界)

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
			56	事前調査	56.12. 5~56.12.14	6 (ネパール)	3,055
			"	事前調査	56.11.30~56.12. 9	5 (モルディヴ)	4,045
			"	事前調査	56. 7.17~56. 7.27	3 (セイシェル)	3,176
			"	事前調査	57. 1. 6~57. 1.16	2 (ジブティ)	2,863
			"	事前調査	56.11.26~56.12. 4	5 (オマーン)	3,823
			"	事前調査	56. 9.17~56.10. 1	5 (ミクロネシ ア)	4,234
			"	事前調査	56.10.10~56.10.23	5 (ペルー)	3,249
3	経済技術協力調査	ASEAN5ヵ国およびバングラデシュ、パキスタン、エジプト、ブラジルを対象にわが国の経済技術協力実績のレビュー、協力実施上の問題点について意見交換を行うとともに、昭和57年度に実施する経済技術協力案件の選定、確認を行った。 また、ブルネイ、バプア・ニューギニア、ペルー等に対しては、わが国の経済技術協力の仕組みを説明するとともに、今後の協力案件の発掘を行った。	57	事前調査	57. 6.27~57. 6.30	7 (フィリピン)	1,133
			"	事前調査	57. 7.11~57. 7.14	5 (タイ)	1,300
			"	事前調査	57. 8.25~57. 9. 1	6 (マレーシア、 シンガポ ール)	1,995
			"	事前調査	57. 5.24~57. 6. 3	5 (バングラデ シュ)	2,580
			"	事前調査	58. 2. 4~58. 2.17	14 (パキスタン)	4,970
			"	事前調査	58. 3.23~58. 3.29	9 (ブルネイ)	2,860
			"	事前調査	57. 7.25~57. 7.31	5 (ブラジル)	2,329
			"	事前調査	57.11. 6~57.11.26	5 (ペルー、エ クアドル、 ロンビア、 ホ)	3,279

No.	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
						ンデユラス, コスタ・リカ)	
			57	事前調査	58. 2. 18~58. 3. 2	5 (パプア・ニ ューギニア, ヴァヌアツ, フィジー)	3,887
4	経済技術協力調査	アセアン5ヵ国およびバングラデシュ、パキスタン、メキシコの各国を対象にわが国の経済技術協力実績のレビュー、協力実施上の問題点について意見交換を行うとともに、昭和58年度に実施する経済技術協力案件の選定、確認を行った。 またビルマ、スリ・ランカ、ハイティ、ホンデユラス、ペルー、ポリヴィアおよびイランの各国に対しては、わが国の経済技術協力の仕組みを説明するとともに、今後の協力案件の発掘を行った。	58	事前調査	58. 4. 22~58. 5. 6	5 (イラン)	5,017
			"	事前調査	58. 6. 11~58. 6. 18	7 (バングラデ シュ)	3,575
			"	事前調査	58. 6. 26~58. 7. 2	6 (インドネシ ア)	2,452
			"	事前調査	58. 7. 2~58. 7. 5	7 (タイ、シン ガポール)	2,557
			"	事前調査	58. 7. 19~58. 7. 27	6 (フィリピン、 マレーシア)	2,962
			"	事前調査	58. 8. 22~58. 8. 28	6 (メキシコ)	2,921
			"	事前調査	59. 2. 24~59. 3. 3	12 (パキスタン)	3,957
			"	事前調査	59. 2. 28~59. 3. 9	4 (ビルマ、ス リ・ランカ)	1,921
			"	事前調査	59. 2. 19~59. 3. 5	5 (中南米諸国)	4,758
5	プロジェクト研究費、 調査団収集資料整備費、 システム管理費等	①開発調査事業及び海外開発計画調査事業の実施に伴い収集した各地域の国別基本資料、プロジェクト分野に関する資料について収集資料の分析、情報価値を基準とする選別の実施、②前記資料に関し資料内容要約の作成、重要資料の関連機関への情報提供のためのマイクロフィルム等の作成、③資料の整理、保管、目録の編さん等の作業、国別分野別収集、資料目録の作成、配布等のサービスの実施、④当該	61				110,744

区分不能(世界)

区分不能(世界)

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		調査団、関連調査団に対する情報の複写サービス等の附帯作業に関連する業務の提供。					
6	経済技術協力国別資料、実施済案件現状調査等		62				75,438
7	開発調査実施済案件現状調査	将来さまざまな方式による援助、協力が行われることになろう開発途上国の開発ポテンシャルと進められるべき開発の方向や開発途上国が共有する課題について、内外の諸機関に分散、保存されている資料の収集、整理分析を各分野の専門家によって実施する。	63	フォローアップ	(業務実施契約)		10,663
			元	"	"		14,500
			2	"	"		26,996
			3	"	3.11.13~4.2.25	16	71,233
			"	"	(役員提供契約)		9,199
8	新規案件検討資料作成作業	同上	63	プロジェクト研究	(プロジェクト研修費)		7,150
			元	"	"		8,705
			2	"	"		9,110
			3	"	"		12,052
9	運輸、交通、建設等分野に係る開発調査の調査計画研究	同上	63	プロジェクト研究	(プロジェクト研修費)		8,419
10	経済技術協力国別資料作成調査(援助地図)	同上	63				6,075
			"				17,771
11	農林水産分野開発調査案件における技術費積	同上	63	プロジェクト研究	(プロジェクト研修費)		7,211

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
	算の標準化						
12	農林水産分野開発調査 案件におけるフォロー アップ		元	フォローアップ	(業務実施契約)		9,313
			2	"	"		7,000
13	調査団収集資料整備経 費	(含む報告書発送業務)	元	その他			59,449
			2	"			63,700
			3	"			
14	報告書作成費	(農林水産業)	元	その他			4,643
		(社会開発調査分、農林水産分)	2	"			158,662
		(")	3	"			366,302
15	システム管理経費	将来さまざまな方式による援助、協力が行われることになろう開発途上国の開発 ポテンシャルと進められるべき開発の方向や開発途上国が共有する課題について、 内外の諸機関に分散、保存されている資料の収集、整理分析を各分野の専門家によ って実施する。	元	プロジェクト 研究	(プロジェクト研修 費)		38,137
			2	"	"		38,581
16	ダム建設環境影響評価	同 上	元	プロジェクト 研究	(プロジェクト研修 費)		19,779
17	国別経済技術協力基礎 資料整備調査	同 上	元	プロジェクト 研究	(プロジェクト研修 費)		29,982
18	アジア太平洋諸国にお ける運輸交通基盤開発 整備の現況分析	同 上	元	プロジェクト 研究	(プロジェクト研修 費)		2,461
19	分野別開発調査計画策 定ガイドライン作成	同 上	2	プロジェクト 研究	(プロジェクト研修 費)		12,161
20	その他		2	その他			348
21	国内旅費	(社会開発調査分・農林水産分)	2	その他			4,712
			3	"			4,022

区分不能(世界)

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
22	在外事務所執行分	(現地調査費) 社会開発調査分	2	その他			25,374
23	資機材等購送費	社会開発調査分・農林水産分	2	その他			11,586
			3	"			18,654
24	所属先給与補填経費	調査団派遣にあたり専門家の所属先に対し、給与の補填を行った。 (社会開発調査分・農林水産分)	2	その他			20,845
			3	"			19,536
25	地域総合開発計画策定 ガイドライン作成	将来、開発調査を始めとする様々な方式による援助・協力が見込まれる開発途上国に共通する課題や望ましい開発の方向性につき多角的に検討を行うと共に、適確な調査・援助手法の開発を目的として、内外の関連機関、各分野の専門家の協力を得つつ、プロジェクト研究を実施した。	3	プロジェクト研究	4. 2. 16～ 4. 2. 29	4	19,504
26	自然条件などの調査に係るローカルコンサルタント技術水準調査	同 上	3	プロジェクト研究	(プロジェクト研修費)		27,648
27	フィジビリティスタディ標準調査	同 上 (在来鉄道の近代化編)	3	プロジェクト研究	(プロジェクト研修費)		16,174
28	コンサルタント等との契約による開発調査事業に係る監督検査実施マニュアル作成	将来、開発調査を始めとする様々な方式による援助・協力が見込まれる開発途上国に共通する課題や望ましい開発の方向性につき多角的に検討を行うと共に、適確な調査・援助手法の開発を目的として、内外の関連機関、各分野の専門家の協力を得つつ、プロジェクト研究を実施した。	3	プロジェクト研究	(プロジェクト研修費)		4,468
29	開発調査事業における社会分析ガイドライン作成	同 上	3	プロジェクト研究	(プロジェクト研修費)		3,504
30	農業開発に係る環境配慮ガイドライン作成	同 上	3	プロジェクト研究	(プロジェクト研修費)		19,199
31	分野別(環境)開発調査計画策定ガイドライン作成	同 上	3	プロジェクト研究	(プロジェクト研修費)		39,386

区分不能(世界)

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
32	現地調査費	(一般調査実施経費)	3	その他			42,267

海外開発計画調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	南米地域等鉱工業プロジェクト選定確認調査	南米地域等に対するわが国の技術協力のうち、鉱工業関係の開発調査を効率的に実行するため、要請のプロジェクトと今後要請の可能性がある案件について、その背景と経済開発計画における位置づけ等を調査し、実施可能なプロジェクトの選定、確認を行った。	60	海	60. 8. 12~60. 8. 25	5 (チリ, ペルー)	5,858
			"	"	60. 12. 7~60. 12. 16	5 (アルゼンティン)	8,310
			"	"	61. 2. 7~61. 2. 16	3 (ジンバブエ)	3,735
			"	"	61. 2. 25~61. 3. 9	8 (インド)	9,905
			"	"	61. 3. 16~61. 3. 22	8 (タイ)	4,918
2	収集資料整備、報告書作成費等	①開発調査事業及び海外開発計画調査事業の実施に伴い収集した各地域の国別基本資料、プロジェクト分野に関する資料について収集資料の分析、情報価値を基準とする選別の実施、②前記資料に関し資料内容要約の作成、重要資料の関連機関への情報提供のためのマイクロフィルム等の作成、③資料の整理、保管、目録の編さん等の作業、国別分野別収集、資料目録の作成、配布等のサービスの実施、④当該調査団、関連調査団に対する情報の複写サービス等の附帯作業に関連する業務の提供。	61	海			31,789
			62	"			24,786
3	鉱工業プロジェクト・フォローアップ調査		63	海			15,135
			2	"	2. 10. 18~ 2. 10. 30	7	15,434
			3	"			372
4	鉱工業プロジェクト選定確認調査		63	海			30,787
5	財務・経済分析基本力	(米国、オーストリア)	63	海	元. 2. 21~元. 3. 3	1	12,881

区分不能(世界)

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
	イドライン策定計画調査(送配電網)		元	海	(フォローアップ)		10,879
			2	"	2.7.8~2.7.15	4	18,833
			3	"			18,550
6	調査事業の計画策定・管理の為の附帯業務		63	海			11,003
			元	"			20,190
			2	"			28,799
7	調査団収集資料整備事業		3	"			42,955
			63	海			21,753
			元	"			25,106
8	鉱工業関係英文報告書審査基準ガイドライン策定計画		2	"			26,852
			3	"			40,716
			元	海			16,758

資源開発協力基礎調査事業

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	プロジェクト選定調査	<p>金属鉱物資源開発を進めようとしている、あるいは進めるために協力要請がある発展途上国に対し、要請内容、受入体制、地質鉱床概況、既調査内容等の資源開発調査実施に関する諸条件を調査するものである。</p> <p>昭和53年度はビルマ、ネパール、タイおよびオマーンの各国で調査を実施した。</p> <p>昭和57年度はジンバブエ、モロッコおよびタイの各国(調査実施順)で調査を実施した。</p> <p>昭和58年度はコロンビア、ドミニカ共和国、ザンビア、メキシコおよびビルマの各国(調査実施順)において調査を実施した。</p> <p>(コロンビアにおいては事前調査折衝と併せて本調査を行った。)</p>	53	資	53.11.8~53.12.6	7	4,855
			57	資	57.11.3~57.11.23	3	10,761
			"	資	57.11.15~57.12.4	3	
			"	資	57.12.12~57.12.16	3	
			58	資	58.7.25~58.8.8	(3)	7,101
			"	資	58.9.9~58.9.21	4	
			"	資	59.2.10~59.2.25	2	
"	資	59.3.4~59.3.15	1				
"	資	59.3.12~59.3.23	3				

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		昭和59年度はフィジー、トルコ、マラウイ、パキスタンおよびバングラデシュの各国（調査実施順）において調査を実施した。 昭和60年度はバングラデシュ、タンザニア、ブルンディ、ルワンダ、ブラジルおよびアルゼンティンの各国（調査実施順）において調査を実施した。	59	資	59. 11. 3～59. 11. 12	2	11,095
			"	資	60. 2. 3～60. 2. 16	3	
			"	資	60. 3. 8～60. 3. 16	3	
			"	資	60. 3. 13～60. 3. 22	4	
			"	資	60. 3. 15～60. 3. 23	2	13,796
			60	資	60. 7. 28～60. 8. 8	3	
			"	資	61. 2. 9～61. 2. 16	4	
			"	資	61. 2. 10～61. 2. 18	4	
			"	資	61. 2. 19～61. 2. 24	4	
			"	資	61. 2. 16～61. 2. 28	4	
"	資	61. 2. 25～61. 3. 8	4				
2	フォローアップ調査	資源開発協力基礎調査を終了した案件に関し、調査終了後の相手国の対応、わが国への要望および調査の評価について、相手国並びにわが国の在外関係機関等と協議を行い、今後の協力調査をより効果的に実施することを目的とする。 昭和53年度はチリ国北部地区調査およびフィリピン国ルソン北部地区調査に関し、フォローアップを行った。 昭和55年度はモロッコ国南部地区調査およびホンデュラス国西部地区調査に関し、フォローアップを行った。 昭和56年度は次の案件を対象にフォローアップを行った。 チリ国コンセプション東部地区調査 アルゼンティン国北部地区調査 フィリピン国ルソン北西部地区調査 トルコ国ツン・コップ地区調査 モロッコ国オートムルヤ地区調査 このほか、コロンビアについては、調査用機材の供与および技術指導のため専門家の派遣を行った。	53	資	53. 6. 21～53. 7. 27	4	2,390
			55	資	55. 4. 19～55. 4. 28	4	2,063
			"	資	56. 1. 13～56. 1. 19		
			56	資	56. 5. 30～56. 6. 11	13	8,573
			"	資	56. 7. 5～56. 7. 8		
			"	資	56. 6. 12～56. 6. 27		
			"	資	56. 10. 17～56. 10. 26		
			"	資	56. 11. 24～56. 12. 7		
			57	資	57. 5. 7～57. 5. 17	3	2,368
			"	資	57. 7. 6～57. 7. 20	3	
59	資	59. 7. 10～59. 7. 18	2	10,244			
"	資	59. 9. 24～59. 10. 8	2				
"	資	59. 10. 15～59. 10. 22	2				
60	資	60. 5. 19～60. 5. 28	2				

区分不能（世界）

区分不能
(世界)

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		<p>昭和57年度は、ボリヴィア国グランチャカ地域調査およびインドネシア国カリマ ンタン地域調査に関し、実施した。</p> <p>昭和59年度は、フィリピン国、ブラジル国およびチリ国（調査順）において、実 施した。</p> <p>昭和60年度は、マレーシア国、インドネシア国およびボリヴィア国（調査順）に おいて実施した。</p>	60	資	60. 7. 29~60. 8. 3	3	17,995
			"	資	60. 6. 29~60. 7. 6	5	
			"	資	60. 9. 15~60. 12. 19		
			"	資	60. 11. 20~60. 12. 2		
3	事前調査折衝	<p>当該国で実施されたプロジェクト選定調査の結果に基づき、本格調査を実施する にあたっての実施計画について当該政府と協議するものである。</p> <p>昭和56年度は次の調査を実施した。</p> <p>（中国）</p> <p>同国安慶地域において、設計調査並びに坑道探鉱、坑内試錐による坑内地質調査 を実施し、基礎的鉱山開発損益評価を行う目的で昭和56年8月12日付でS/Wの調 印を行い、今回は設計調査を実施した。</p> <p>（フィリピン）</p> <p>同国ミンドロ地域において鉱物資源分布図を作成するとともに、鉱物資源賦存有 望地域の評価を行い有望地区を抽出する目的で昭和56年12月7日付でI/Aの調印 を行い、今回は全域について概査を行った。</p> <p>（アルゼンティン）</p> <p>同国南部パタゴニア地域において鉱床賦存有望地域を抽出する目的で昭和56年6 月18日付でS/Wの調印を行い、今回はランドサットデータの解析を行った。</p> <p>（チリ）</p> <p>同国中部地域（エルテニエンテ南部）の鉱床賦存の可能性を調査する目的で昭和 57年2月18日付でS/Wの調印を行い、今回は全域について写真地質解析を行っ た。</p> <p>昭和57年度は次の三案件（調査実施順）に関し、実施した。</p> <p>1. ペルー国イスカイクルス地区調査</p>	56	資	56. 6. 12~56. 6. 25	7	4,107
			"	資	56. 5. 30~56. 6. 11		
			"	資	56. 2. 15~57. 2. 19		
			"	資	56. 12. 15~56. 12. 19		
			"	資	56. 6. 3~56. 6. 9		
			"	資	56. 8. 11~56. 8. 22		
			"	資	56. 7. 12~56. 7. 22		
			57	資	57. 5. 7~57. 5. 14	5	2,435
			"	資	57. 7. 13~57. 7. 20	1	
			"	資	57. 7. 16~57. 8. 1	1	
			58	資	58. 6. 11~58. 6. 25	1	7,101
			"	資	58. 5. 6~58. 5. 16	1	
			"	資	58. 6. 5~58. 6. 14	1	
"	資	58. 4. 22~58. 5. 3	1	6,163			
"	資	58. 5. 27~58. 6. 5	(3)				
59	資	59. 9. 24~59. 10. 8	2				
"	資	59. 5. 7~59. 5. 21	3				
"	資	59. 6. 6~59. 6. 17	4				
"	資	59. 5. 18~59. 6. 3	5				
"	資	59. 11. 3~59. 11. 14	3				

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
		2. ケニア国ケリオバレー地区調査 3. インドネシア国北スマトラ地区調査 昭和58年度は次の五案件（調査実施順）に関し、実施した。 1. ブラジル国アンタゴルダ地域調査 2. モロッコ国オートアトラス西部地域調査 3. タイ国オムコイ地域調査 4. ジンバブエ国シャムバ地域調査 5. コロンビア国ダイヤモンド地域調査 コロンビア国においては別件のプロジェクト選定調査と併せて実施した。 昭和59年度は、ブラジル、コロンビア、メキシコ、ザンビア、ビルマ、中国、トルコ、フィリピンの各国（調査実施順）において実施した。 昭和60年度はマレーシア、パルー、インドネシア、中国、チリおよびフィジーの各国（調査実施順）において実施した。	59	資	59. 7. 24～59. 8. 14	} 6	5,337
			"	資	59. 11. 7～59. 11. 21		
			"	資	60. 2. 3～60. 2. 16		
			"	資	59. 9. 24～59. 9. 28	3	
			60	資	60. 5. 19～60. 5. 28	1	
			"	資	60. 8. 21～60. 8. 30	} 5	
			"	資	60. 6. 26～60. 6. 29		
			"	資	60. 8. 26～60. 9. 3	} 4	
			"	資	60. 8. 26～60. 9. 7		
			"	資	60. 10. 9～60. 10. 17	4	
"	資	60. 11. 24～60. 12. 8	4				
"	資	60. 7. 1～60. 7. 8	} 5				
"	資	60. 7. 1～60. 7. 20					

区分不能（世界）

〔援助効率促進事業〕

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	国別分野別援助研究	環 境	63	国別分野別援助研究	63. 8. 14～63. 12. 21	5	18,128
2	調査実施に係る共通経費	報告書作成費、資機材購送費、国内旅費、所属先捕填経費、事業の計画的実施に必要な経費、事業効率化基礎研究・事業評価に必要な経費	63	その他			46,449
			元	"			64,261
3	評価手法策定に係る事業効率化基礎研究	ガイドライン	63	事業効率化基礎研究			18,118
4	JICA技術協力事業に係る諸制度検討調査	事業団が行う事業のうち共通的な課題の研究	元	基礎研究	元. 8 ～元. 11		12,884
5	専門家派遣の法的側面	同 上	元	基礎研究	元. 8 ～元. 12		3,035

区分不能（世界）

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
6	評価手法策定	事業団が行う事業のうち共通的な課題の研究	元	基礎研究	元. 4 ~ 2. 3		19,046
7	金属工業技術センター 他	在外事務所（マレーシア他）	元	横断的評価調査	元. 9. 1~ 2. 3. 31		27,303
8	評価・共通経費		元	その他			620
9	UNDPプロジェクト 形成調査	UNDPとの連携（国際機関）	2	プロジェクト 形成調査	2. 4. 30~ 2. 5. 5	2	1,131
10	世界銀行プロジェクト 形成調査	世界銀行との連携（国際機関）	2	プロジェクト 形成調査	2. 4. 15~ 2. 4. 23	4	2,893
			3	”	3. 9. 15~ 3. 10. 4	4	2,761
11	国別分野別援助研究		2	国別分野別援助 研究	2. 4 ~ 3. 3	32	117,800
			3	”	3. 4 ~ 4. 3	35	94,786
12	ローカルコンサルタント 活用（事前調査）	現地サイドにおける事前調査という位置付けで、ローカルコンサルタントを活用した調査を15件実施した。 プロ技協案件 8件（医療 5件、農業 2件、鉱工業 1件） 無償案件 7件	2	プロジェクト 事業促進			34,097
13	事後現況調査	42在外事務所により事後現況調査（プロジェクト技 無償）を行い、それをフィードバックに活用するための検討及び調査結果の整理・分析を実施した。	元	基礎研究	元. 8 ~ 元. 12		9,509
			2	プロジェクト 事業促進			71,549
			3	”			66,714
14	情報システム基本計画 策定調査	事業の質の向上及びその効果的実施のために、JICAの経営戦略を明確化するとともに、目標達成のための事業実施体制のあり方（基本方針）を検討し、改革案及びその実施体制を支援する情報システムの基本構想を策定した。	2	プロジェクト 事業促進			74,819
			3	”			64,996
15	情報ネットワーク化促 進	JICA本部と国内付属機関・支部との情報の相互利用を促進するためのネットワーク化を実現した。	2	プロジェクト 事業促進			53,826
			3	”			100,337

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
16	業務情報整備・拡充 (開発途上国技術情報データベース更新、外部データベース検索)	途上国36ヶ国の整備済7分野の技術情報の更新、及びパーソナルコンピュータ利用によるデータの配布に関するデータベースシステムの開発を行った。	2	プロジェクト事業促進			51,213
17	国別協力情報整備	41ヶ国を対象に国別協力情報ファイルを作成した。	2	プロジェクト事業促進			207,550
			3	〃			124,469
18	プロジェクト業務効率化促進のための基礎調査		2	基礎研究	2.7 ~ 2.10		4,985
19	ローカル・コンサルタント活用に関する調査研究		2	基礎研究	2.12 ~ 3.3		17,962
20	コンサルタント等との契約による調査業務の改善に係る調査		2	基礎研究	3.2 ~ 3.3		4,568
21	案件選定審査にかかる基準作成調査		2	基礎研究	3.3		2,544
22	調査実施にかかる共通経費	(所属先補填経費、報告書作成費、資機材購送費、国内旅費)	2	その他			56,397
			3	〃			55,371
23	在外専門調整員		3	プロジェクト事業促進			33,354
24	アフリカ開発銀行 (AFDB)	アフリカ開発世銀との連携	3	プロジェクト形成調査	4.3.22~ 4.3.30	3	4,474
25	研修員による研修コース評価	(インド他)	3	案件別評価調査			9,269

区分不能(世界)

区分不能(世界)

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
26	在外事務所評価		3	横断的評価調査			23,908
27	業務情報整備	事業評価に必要な経費	3	横断的評価調査及び案件別評価調査			9,972
28	基礎調査	事業効率化基礎研究に必要な経費。 <研究テーマ> 1. PCM手法の開発に関する基礎調査(I)(II) 2. 専門家の法的側面に関する基礎研究 3. 案件選定審査にかかる基準作成調査	3	基礎研究			29,859

[無償資金協力]

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額(億円)	調査年度	調査種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	アフガニスタン稲作開発センター計画, パキスタン電気通信研究所				53	実施促進	54. 2. 27~54. 3. 3	1	554
2	バングラデシュ食糧貯蔵用施設計画, 循環器病研究所施設計画, 車輛維持修理中央作業所計画, パキスタン都市部マラリア撲滅計画, アフガニスタン稲作開発センター計画				54	実施促進	54. 7. 25~54. 8. 15	4	2,768
3	イエメン・地方水道整備計画, 中国・中日友好病院設立計画				56	実施促進	56. 11. 13~56. 11. 28	1	1,085
4	スーダン・ジャバルアウリ				57	実施促進	58. 2. 24~58. 3. 14	1	1,719

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査閉 派遣人数	経費実績 (千円)
	ア魚類流通計画、インドネ シア国土開発隊センター計 画				58	実施促進	(過年度支出)		16
5	事業費審査	資機材等調査を効率的に実施するため車輛 ・農機、建設土木機械166品目の標準仕様・標 準価格の作成を行った。			63	事業費審査			26,342
					元	"			21,900
6	無償資機材等調査に係る標 準仕様作成のための基礎調 査	基本設計調査に必要な各国建設事情データ をデータ・ベースとして整備。			63	基礎調査			20,153
7	図書資料整備				63				8,703
8	無償資金協力事業に係る共 通経費の管理				63				21,960
					元				93,362
					2				106,206
					3				219,855
9	通信放送分野の基本設備調 査における技術調査実施マ ニュアル				元				7,116
10	無償資金協力地下水案件の 標準資機材構成選定システ ム開発に係る調査				元	基礎調査			5,025
					2	"	(国内調査のみ)		5,183
					3	"	(")		8,692
11	在外事務所への前渡資金	(現地調査費)			元	基本設計(現)			28,259
12	資機材等調査				元	基本設計(現)			178,140
		84件			2	"			201,742
		93件			3	その他			149,262
13	仕様書作成	(食糧増産援助)			元	実施促進			7,662
		29件			2	"			26,926
14	在外事務所及び国際協力給	(現地調査費等)			元				33,973

区分不能(世界)

区分不能(世界)

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
	合研修所への示達								
15	フォローアップ協力用機材 の仕様書案作成				2	基礎調査	(国内調査のみ)		2,382
16	医療・理化学機器仕様書管 理システム開発				2	事業費審査			3,635
17	食糧増産援助標準機材リス ト作成のための調査				2	基礎調査	(国内調査のみ)		7,663
18	無償資金協力基本設計調査 実施実績表作成				2	事業費審査			1,885
19	無償資金協力実績等の入力 等業務				2	事業費審査			2,124
					3	"			282
20	無償資金協力終了時評価調 査結果概要表作成・分析業 務				2	基礎調査	(国内調査のみ)		866
					3	"	(")		1,549
21	無償資金協力調査部 業務 管理システム開発				2	事業費審査			3,502
					3	"			2,137
22	無償資金協力調達ガイドラ イン等の作成				2	事業費審査			1,772
					3	"			520
23	無償資金協力事業に係る国 別案件一貫管理促進情報整 備				3	その他			4,835
24	平成二年度実績報告書作成 業務				3	その他			4,919
25	無償資金協力業務関係者説 明会				3	その他			1,264
26	食糧増産援助計画, カイロ 大学看護学部施設改修計画	(エチオピア) (エジプト)			3	実施促進	3.12.2~3.12.18	3	4,892
27	食糧増産援助計画, 肥料ア				3	基礎調査	(国内作業)		7,892

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
	ンタイド化調査								
28	無償資金協力業務概要表作 成業務				3	基礎調査	(国内作業)		1,600
29	無償資金協力事業管理シス テム開発				3	事業費審査			10,119
30	建築及び土木案件基本設計 調査概算事業費審査業務				3	事業費審査			9,788
31	食糧増産援助事業費審査の ためのシステム開発				3	事業費審査			13,037
32	基本設計調査(施設案件) の概算事業費に対する審査 システム				3	基礎調査	(国内調査)		47,229
33	無償資金協力にかかる医 療・理化学機器のガイドラ イン作成				3	基礎調査	(国内調査)		13,216
34	図書館運営費				3				16,300

区分不能(世界)

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

No.	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	パキスタン、ケニア燃 料林造成	開発途上国の多くでは、近年焼畑耕作による森林の減少、森林資源の奥地化等が進む一方、都市およびその周辺の人口増加および生活水準の向上にともない燃料需要が急増し、これに対応すべき木質エネルギーの絶対的不足が問題化してきている。 このような状況を踏まえ、わが国民間企業による木質系エネルギー資源の造成協	57	基礎一次調査	58. 2. 4~58. 2. 17	1	8,010
			"	基礎一次調査	58. 2. 4~58. 2. 10	1	
			"	基礎一次調査	58. 2. 9~58. 2. 17	1	
			"	基礎一次調査	58. 2. 4~58. 2. 19	4	
			58	基礎一次調査	(報告書作成)		942

区分不能
(世界)

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		力に当って必要となる基礎的な実情実態を把握、検討することを目的として、木質系エネルギーの不足が緊急課題となっている国のうちアジア地域ではパキスタン、アフリカ地域ではケニアを対象として、政府機関および現地の調査を行った。					
2	実施計画費、印刷製本費等		61				24,607
			62				8,814
3	調査団派遣経費		63				34,513
4	平成2年度開発協力農林3部経費		2	その他(在外事務所送金分等) (農林3部共通経費、少額会議費等)			40,171
5	開発協力、実施計画		2				17,928
			3				9,970
6	平成3年度農林3部共通経費 (開発協力事業費)		3	その他(農林3部共通経費、少額会議費等)			11,075

投融資審査等調査

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	タイ、オーストラリア 農業開発投融資審査等 調査	1. タイ国中北部におけるタイ国とうもろこし開発事業に対する試験的的事业資金に係る融資後調査。 2. オーストラリア国ビクトリア州におけるアルファルファ開発事業に対する試験的的事业資金に係る融資前調査。	50	投融資審査等 調査	50.11.22~50.12.8	4	3,331
2	バブア・ニューギニア、 フィリピン投融資審査 等調査	バブア・ニューギニア、マタン試験的造林事業に係る融資後調査および、フィリピン、カガヤンディオロ試験的造林事業に係る融資後調査。	56	投融資審査等 調査	56.10.22~56.11.5	4	3,382
			57	投融資審査等 調査	(報告書作成)		560

[災害援助等協力事業]

専門家派遣

年度	災 害 名	期 間	人 数	経 費 実 績 (千円)
61	登録・訓練等経費			58,741
62	災害援助訓練・援助物資備蓄費等			449,547
63	国際緊急援助体制調査	63. 8. 20~63. 8. 31	6	} 9,481
"	"	元. 2. 2~元. 2. 9	5	
"	その他経費			70,836
"	備蓄			177,871
元	"			232,109
2	研修会・運営委員会			66,445
"	備蓄倉庫			60,852
"	備蓄物資			280,062

区分不能
(世界)

国際緊急援助隊派遣

年度	災害区分	災害発生時期	災害の規模	派遣の目的	派遣期間	チームの構成	救 援 物 資	所要経費 (千円)
3	研修会、委員会開催等							79,757
	備蓄物資補充							29,320
	備蓄倉庫							73,551

そ の 他

そ の 他

(プロジェクト方式技術協力)

社会開発協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
財団委託分OA機器分 担支払い等、調査団派 遣経費		63				131,229			7,808			139,037
日・アセアン専門家会 議		元				128,658			3,015			131,673
その他リーダー会議等		元							6,196			6,196

そ
の
他

農林水産協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
その他諸経費		3				36,913			165,351		4,283	206,547

産業開発協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
共通経費	(管理費、人件費等)	2				64,260						64,260
		3				2,159			4,749		25,761	32,669

(開発調査方式技術協力)

開発調査事業

その他	No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
	1	発展途上国における総合開発計画に関する調査研究	近年、調査案件の中には単体プロジェクトにとどまらず地域総合開発計画に関するものが増加しつつあるが、方法論・手法がまだ確立しておらず、関連資料も個々に散在しているのが現状である。この調査研究においては、総合開発計画調査の目的と必要性、同調査における社会的アプローチ、同調査の実施上の問題点と今後の展望、調査の手順と手法について、これまでの諸研究、調査実施例の検討を行った上、今後の調査実施にあたってのマニュアルの作成を目的としたものである。	49	研	国内作業のみ 49. 12. 27~50. 3. 26		3,159
	2	フィージビリティ・スタディ標準要領に関する研究	① 道路計画標準要領(案)の作成。 ② 都市交通計画標準要領(案)の作成。	50	研	国内作業のみ 50. 12. 20~51. 3. 20		4,810
				51	研			5,300
	3	海外測量(基本図)作業規程等の作成に関する研究	事業団が行う技術協力の一環として行う地図作業事業のため、実施する地上測量・航空写真測量につき、その標準作業内容を定めることを目的としたものである。 昭和51年度は、大縮尺図に対する標準作業内容を作成した。	50	研	国内作業のみ 51. 2. 2~51. 3. 31		4,820
				51	研			5,100
	4	技術協力効果測定に関する調査研究	(i) 技術協力プロジェクトのフローの中で、効果測定を明確に位置づけ、効果測定に目標管理の考え方を導入し、Input-Output-Purposeの関連を示すプロジェクト評価表の考案・作成を通して評価のシステム化 (ii) UN, OECDその他各機関における効果測定へのアプローチ手法のまとめ (iii) 実際のプロジェクトのケーススタディ (iv) USAID・OECDの効果測定の方法の紹介等を通して技術協力の効果測定における基本的な問題点を分析し、技術協力の効果測定・評価方法の確立を目的としたものである。	50	研	国内作業のみ 50. 11. 11~51. 3. 25		4,778
	5	発展途上国の社会資本の実態と日本の対外援助に関する研究	社会発展水準と社会資本整備水準の分析と相互比較を、主にASEAN諸国を対象に実施した。この分析では、最終的にモデル的な社会資本指標を求め、これによって各国の発展レベルを比較し、位置づけることを試みた。	51	研	国内作業のみ		4,277
	6	開発プロジェクトの経	プロジェクト経済分析の基本的手続きおよび既に発表されている分析手法の比較	51	研	国内作業のみ		3,231

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
	経済分析・評価に関する調査研究	研究を実施した。					
7	先進諸国援助機関等におけるコンサルタントの利用状況等調査	コンサルタント利用の必要性が増大している現状を踏まえて、JICAのコンサルタント雇用手続きの整備を図るにあたって、世界銀行等の諸機関によるコンサルタントの活用状況につき実証的調査を行ったもの。	51	研	国内作業のみ		2,268
8	プロジェクトの経済分析、評価の調査研究・ケーススタディ	昭和51年度において、経済分析評価の方法として代表的かつ主流を占める「社会的費用便益分析」法を紹介すると同時に、援助国及び援助機関の経済評価体系、方法及びその比較研究についても紹介した。 昭和52年度は、この成果を踏まえて、社会的費用便益分析法が適用できるプロジェクトの範囲について言及するとともに、それらプロジェクトのフィージビリティ・スタディにおける経済分析の標準的手続きとチェックポイントを確立した。更に広範かつ数多く実施している公共インフラ・プロジェクトに焦点を合わせ、そのうちかんがい、道路、港湾、電話プロジェクトをとりあげ、そのケーススタディを実施した。	52	研	国内作業のみ		4,440
9	開発プロジェクトの事前分析	開発途上国の国家目的に合致した開発プロジェクトを選択するために、開発プロジェクトを創出した上位計画、そのうちセクター計画、サブセクター計画、地域計画について、その分析、内容、評価及び手法等について指針を得るため、直接的には、開発プロジェクトの発掘、選定、確認調査に資するため、西独、オランダ、OECDを訪問し、得られた調査結果及び関係資料を基に検討し、とりまとめた。	52	研	国内作業のみ		2,157
10	発展途上国の社会資本の実態と相互水準比較 —中南米編②—	昭和51年度、アジア地域諸国について行った同一テーマの研究を、52年度は中南米地域諸国について行った。 本調査研究は、社会資本整備状況からみたそれぞれの国の経済発展状況を把握し、それらを基礎としてそれぞれの途上国に援助する場合どのような部門、分野に対し援助するのがよいかの考察を試みたのである。	52	研	国内作業のみ		5,996
11	開発調査の業務実施におけるコンサルタント	開発調査業務実施におけるコンサルタント契約に関し、現行の法令規程、その実施経路等についてADBのそれと比較研究を行い、今後の開発調査の適切かつ効率	52	研	国内作業のみ		907

その他

その他

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
	契約にかかる法令規程及び実務運用に関する比較調査研究	<p>的な実施に資することを目的として実施したものである。</p> <p>比較研究の対象としては、以下の点を取上げた。コンサルタントの選定（登録、選択、インビテーション、プロポーザル、評価、決定）、契約（方法、契約条項等）、業務実施監理、精算、事後評価等。</p>					
12	上水道及び下水道計画にかかるフィージビリティ調査標準要領	<p>昭和50年度に作成した道路計画編、昭和51年度に作成した都市交通編に引き続いて、個別案件のフィージビリティ調査の標準要領を作成するもので、昭和52年度は、水道及び下水道計画編の骨子を取りまとめる作業までを実施するものである。</p> <p>近年、開発途上国において住民に対するよりよい生活及び衛生環境を提供するとの観点から水道及び下水道計画の実施を考慮する国が多く見られ、フィージビリティ調査の実施要請が増える傾向にある。</p> <p>しかしながら、自然条件、生活条件の違い、また管理運営組織等の未整備等の状況下における調査を効率的にかつ、計画としても実現可能性の高い計画を策定するための調査手法等が確立していないため、調査方針の策定、調査項目、調査の方法論、検討すべき諸問題を含めた標準要領を作成するものである。</p> <p>昭和53年度は、昭和52年度に作成したドラフト（骨子を取りまとめたもの）をより詳細に検討するとともに、チェックリストを作成し、あわせて添付資料を整理のうえ取りまとめ、上下水道計画編、および下水道計画編を作成した。</p>	52	研	国内作業のみ		5,148
			53	研	国内作業のみ		6,061
13	地域総合開発計画調査のためのガイドライン作成（フェイズI）	<p>先進国、国際機関が実施した農村総合開発プロジェクトを中心とした地域総合開発計画の実態調査を行い、「地域総合開発計画調査のためのガイドライン作成」に資する情報資料を収集し（UNDP, IBRD, AID, FAO, BMZ, GTZ）さらに現場（タイ国、フィリピン国）における事例研究を行った。</p>	53	研	国内作業のみ		5,422
14	コンサルタント契約に関する実態調査	<p>開発調査の業務実施に係るコンサルタント契約に関し、数カ年間の継続調査により現地調査を下記項目について実施し、あわせて国際機関（ADB）と当事業団のそれらとを実務面から比較研究する。①調査対象国の現地調査費の単価調査（JICA海外事務所を通じて行う）、②調査期間、調査人員man-month 実態調査（あわせてADBの類似プロジェクトについて事情聴取等を行う）、③代表的プロジェクト</p>	53	研	国内作業のみ		3,027
			54	研	国内作業のみ		3,975
			55	研	国内作業のみ		9,665
			56	研	国内作業のみ		9,320
			57	研	国内作業のみ		13,023

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
		の契約金額の実態調査（契約金額の積算方法、契約方式の検討資料を得る、およびADBとの比較）、④調査団が行う資料の収集方法の実態調査。	58	研	国内作業のみ		8,674
			59	研	国内作業のみ		7,089
15	発展途上国の社会資本の実態と相互水準比較—中近東、アフリカ編 №3—	昭和51年度アジア地域諸国、昭和52年度中南米諸国について行った当該テーマの研究を、53年度は、中近東、アフリカ諸国について行った。 本調査研究は、社会資本整備状況からみたそれぞれの国の経済発展状況を把握し、それらを基礎として、それぞれの途上国に援助する場合、どのような部門、分野に対し援助するのが最適かの考察を試みたものである。	53	研	国内作業のみ		5,997
16	海外における水資源総合開発計画、策定調査の実施基準案の作成	近年、開発途上国よりわが国に対し水資源総合開発基本計画策定調査の要請が急増しており、調査実施の円滑化、適正化、調査情報の標準化を図ることは急務であり、実施基準案を作成することとし、昭和53年度は水資源開発調査団の編成（必要専門分野、団員の必要条件、経験年数等）、業務内容（必要調査項目、その内容・精度等）、調査期間（工程、期間、分野別必要期間等）、必要資機材などを内容とする基準案を作成した。	53	研	国内作業のみ		5,019
17	電気通信F/S標準要領の作成	電気通信、放送関係フィービリティ調査の円滑かつ適正な実施を図るとともに調査精度の標準化を図るため標準要領を作成した。本標準要領は公正な立場から作成可能な公益法人等と業務実施契約を締結し実施作成したもので、この分野で経験豊富なNTT、NHKの専門家および関係有識者の意見等を十分反映したものである。	54	研	国内作業のみ		4,171
			55				764
18	情報管理システム研究	開発プロジェクトの分野は広範にわたり、その規模、内容は大型化、多様化している。途上国の増大するニーズに応えるためJICAは、プロジェクト・ファインディングからエンバリュエーションに至る一連のフローの中で、特に、プロジェクトI・D、調査計画、調査コスト積算、およびプロジェクト評価等の改善、そのシステム化、省力化により、当該事業の効果的、効率的実施を図り、併せて要求される水準にみあう事業の質的管理（QC）を行う必要がある。 昭和56年度は開発調査事業のシステム化を達成するため、開発調査事業のフロー全般に係る業務分析・評価・問題点の抽出を行った。	54	研	国内作業のみ		7,609
			55	研	国内作業のみ		19,239
			56	研	国内作業のみ		39,625
			57	研	国内作業のみ		47,024
			58	研	国内作業のみ		16,717

その他

その他

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
19	地域総合開発計画調査のためのガイドライン作成	昭和53年度実施した「農村開発プロジェクトを中心とした地域総合開発の実態調査」の結果をふまえ、いままで実施した総合開発計画を検討し、また先進国、国際機関が実施した事例を現地調査し、それら調査研究結果にもとづき要点を具体化し、実務指導に適した地域総合開発計画調査のガイドラインを作成した。	54	研	54. 4. 8~54. 4. 21	5	1,184
20	国別技術協力実施の方法論の研究	これまで技術協力実績の少なかったブラック・アフリカ諸国を中心として技術協力の実態調査を行い、問題点を抽出するとともにわが国と被援助国との関係を明確にし、技術協力実施上の総合的評価を実施し、国別執務参考資料としてとりまとめた。	54	研	国内作業のみ		5,475
21	開発途上国の技術水準および適正技術に関する調査研究	開発調査の要請の背景となる開発途上国の技術水準を把握するため、主にアジアにおける農業、インフラストラクチャー、中小工業の各分野の技術水準の現状について一定の方法論に基づき技術段階の位置づけを行うとともに、併せて各技術段階に対応した適正技術のあり方について調査研究を行った。	55	研	国内作業のみ		12,798
22	技術協力のエバリュエーションに関する調査研究	技術協力のエバリュエーション調査の基本的考え方とその実施方法の策定のため、スリ・ランカ、エジプト、タンザニアにおける先進国の技術協力の事例を調査し、技術協力の計画と実施方式、目標、協力内容の設定の仕方、進行管理のための評価システムなどエバリュエーションの具体的な手法、評価基準等について調査研究を行った。	55	研	国内作業のみ		3,097
23	海外測量地図作成に関する研究調査	同研究調査は、海外測量、地図作成を実施する上で必要とされる諸規程類の整備を目的として実施された。 昭和55年度は国土基本図(縮尺：1/10,000, 1/25,000, 1/50,000, 1/100,000)の作業規程の改訂、測量事前調査マニュアルの作成、開発調査用地形図作成、作業規程作成の基本方針の検討、測量積算体系の検討などの作業を行い、海外測量作業規程、設計書作成基準等の作成を行った。	55	研	国内作業のみ		4,959
			56	研	国内作業のみ		6,850
			57	研	国内作業のみ		7,975
			58	研	国内作業のみ		2,953
24	水資源総合開発計画実施基準の作成	近年、水資源開発計画調査についてはその要請が増加する傾向にあり大型化、多様化および複雑化してきている。このような状況により調査の円滑化および調査精度の標準化を図る必要に迫られており、本研究はこれに対処すべく水資源開発のう	55	研	国内作業のみ		2,728
			56	研	国内作業のみ		9,429

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
		<p>ち基本計画調査について調査実施基準を作成するもので、昭和55年度は研究作業とマニュアルを中間（案）としてとりまとめた。</p> <p>昭和56年度はマニュアル概要書の作成および中間報告書の作成を経て、最終報告書を作成した。</p>					
25	病院整備調査実施基準 作成	<p>近年無償資金協力に係る基本設計調査も含め、病院整備計画調査プロジェクトの要請が増加している。また、開発途上国の保健医療状況に対応するため、調査内容は多様化および複雑化の傾向を示している。このような状況に鑑み、病院整備計画調査の円滑化、適正化および調査精度の標準化を図る必要があり、プロジェクト研究として調査実施基準の作成を行うものである。</p> <p>昭和56年度は作業委員会を設立し、国内作業を行い、標準要領としてとりまとめた。</p>	56	研	国内作業のみ		629
26	開発調査の中・長期方針策定に関する調査研究	<p>本調査研究は、開発調査事業の現状と問題点を把握した上で、中・長期の視点に立って、開発調査事業の質量両面における一層の充実とその効率的実施を図るべく、その改善のための具体的方策を明らかにすることを目的としており、①優良案件の発掘、②新しい開発調査ニーズへの対応、③個別開発調査の質的改善、④開発調査における評価の改善等の検討課題につき調査研究を行った。</p>	56	研	国内作業のみ		567
27	調査団等専門家の供給能力に関する調査研究	<p>事業団が実施している開発途上国に対する技術協力は、近年急速に協力規模対象地域が拡大しており、協力の内容も多様化してきている。このため、協力を計画的かつ効率的に遂行するためには、わが国専門家人材の賦存状況と供給能力を把握し、長期的かつ計画的に技術協力専門家を養成確保することが緊要である。かかる観点から、本調査研究では、分野別、組織形態別に技術協力専門家の潜在賦存数と派遣実績を明らかにしたうえで、両者の格差を分析し、専門家供給能力の高い分野を指摘した上で、専門家供給の制約要因を考察した。</p> <p>昭和57年度はアジア、太平洋地域を対象に、技術協力専門家の需要に関する調査研究を実施した。</p>	56	研	国内作業のみ		
			57	研	国内作業のみ		6,017
			58	研	国内作業のみ		8,018
28	総合都市交通体系計画	<p>総合都市交通体系計画の基本的要件と調査手順を理解することを目的とした標準</p>	57	研	国内作業のみ		10,056

その他

その他

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
	調査標準要領	要領の作成を行った。					
29	建築基準設計標準要領作成	昭和56年度タイ国において実施した無償資金協力による建物とタイ国公共建物との比較現地調査結果を参考にして建築基本設計標準要領を作成した。	57	研	国内作業のみ		4,992
30	国別経済技術協力動向調査	わが国と他の援助国あるいは援助機関の対途上国援助の実施振りを比較・検討し、より効率的な協力の実施に資するために「経済・技術協力国別資料シリーズ」を作成した。	58	研	国内作業のみ		8,895
			59	研	国内作業のみ		12,150
			60	研	国内作業のみ		14,976
31	道路都市計画実施調査 基盤整備に係る調査研究	開発調査の調査精度を向上させるうえでその基礎資料となる地形図に関し、案件内容、段階毎に必要とされる地形図の規格を検討し、作成の基準(案)を定めた。	59	研	国内作業のみ		7,066
			60	研	国内作業のみ		7,402
32	開発調査「農林業水産」の標準要領に関する調査研究	農林業水産分野の開発調査の実施にあたり、調査の精度を高め、より効率的な調査を行うため過去に実施した開発調査の実績を分析し、調査項目等に比較検討を加え調査分野及びタイプ(農業開発・水産資源・林業資源等)ごとに実施調査時のガイドラインとして、標準要領を手引きの形で作成するもので、代表的な案件のケーススタディを行って、事前調査用・本格調査用ガイドラインを作成した。	59	研	国内作業のみ		9,797
			60	研	国内作業のみ		16,188
33	建築施設等積算指針策定調査	基本設計調査に於ける積算の標準化に資するため、基礎資料・データの整理分析を行った。	59	研	国内作業のみ		7,309
			60	研	国内作業のみ		2,756
34	開発調査事業総合管理システムプロジェクト研究	開発調査事業の効果的・効率的実施および質的管理を目的とし、実施のためのマニュアルを作成する。	60	研	国内作業のみ		9,827
35	電算経費等		63				59,991

海外開発計画調査事業

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	調査団収集資料等整備事業	①開発調査事業及び海外開発計画調査事業の実施に伴い収集した各地域の国別基本資料、プロジェクト分野に関する資料について収集資料の分析、情報価値を基準とする選別の実施、②前記資料に関し資料内容要約の作成、重要資料の関連機関へ	59	海	国内作業のみ		13,494
			60	海	国内作業のみ		14,932

その他

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		の情報提供のためのマイクロフィルム等の作成、③資料の整理、保管、目録の編さん等の作業、国別分野別収集、資料目録の作成、配布等のサービスの実施、④当該調査団、関連調査団に対する情報の複写サービス等の附帯作業に関連する業務の提供。					
2	調査事業の計画策定管理のための附帯業務	海外開発計画調査事業のプロジェクトの大型化、詳細化や年々多様化する協力要請に対応するため、要請国のみならず、周辺関係諸国の実情等の情報を有識者等から幅広く収集し、調査計画の策定を行うものである。 ①各種資料の印刷、②計画策定・諸手続き事務合理化のための複写機の維持管理・消耗品の購入、③海外における調査事業円滑化のために、海外事務所における相手国政府関係機関との調整、報告書の引き取り等を行った。	59	海	国内作業のみ		9,465
			60	海	国内作業のみ		10,880
3	鉱工業関係財務経済分析基本ガイドライン策定調査	本計画は、当事業団のフィージビリティ・レポート（以下F/R）及び一般出版物等により財務・経済分析について研究するとともに、当事業団のF/Rを利用する立場及び学術的立場に立つ人々から広く意見を聴取し、これらを取りまとめ鉱工業計画調査部における財務・経済分析の基本的ガイドラインを策定することを目的とする。 昭和60年度は調査結果を報告書に取りまとめた。	60	海	国内作業のみ		8,821

〔援助効率促進事業〕

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	その他諸経費		元				22,330

[無償資金協力]

その他	No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		1	その他諸経費				元			

[開発協力方式技術協力]

開発基礎調査

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	その他諸経費		元				25,103
			2				42,639
2	開発協力・実施計画共 通経費		3				136,492

開発協力技術指導

専門家派遣

プロジェクト名	年度	人数	派遣期間	経費実績(千円)	技術指導内容
その他諸経費	2			246	

